

# 明星大学学則

昭和39年4月1日  
制 定

## 第1章 目的

第1条 明星大学（以下「本学」という。）は、設置者である学校法人明星学苑の建学の精神である「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」に基づき、広い教養と深い専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、自己実現を目指し、社会に貢献する人を育成することを目的とする。

2 本学は、前項に掲げる目的を実現するための教育研究の成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

## 第2章 学部、学科及び附属教育研究機関

第2条 本学に、次の学部を置く。

- (1) 理工学部
- (2) 人文学部
- (3) 経済学部
- (4) 情報学部
- (5) 教育学部
- (6) 経営学部
- (7) デザイン学部
- (8) 心理学部

2 本学に、大学院を置く。大学院の学則は、別に定める。

3 本学に、通信教育部を置く。通信教育部の学則は、別に定める。

第3条 本学の学部学科は、次のとおりとする。

- (1) 理工学部  
総合理工学科
- (2) 人文学部  
国際コミュニケーション学科  
人間社会学科  
日本文化学科  
福祉実践学科
- (3) 経済学部  
経済学科
- (4) 情報学部  
情報学科
- (5) 教育学部  
教育学科
- (6) 経営学部  
経営学科
- (7) デザイン学部  
デザイン学科
- (8) 心理学部  
心理学科

第3条の2 学部又は学科ごとの人材の養成に関する目的及びその他教育研究上の目的等については、学部教則に定める。

第4条 本学に、附属の図書館を置く。

2 前項のほか、本学に別表第1に掲げる附属の教育研究機関を置く。

3 図書館等附属教育研究機関について必要な事項は、別に定める。

## 第3章 修業年限及び収容定員

第5条 本学の修業年限は4年とする。ただし、在学期間は8年を超えることができない。

第6条 収容定員は、別表第2のとおりとする。

## 第4章 教職員組織

第7条 本学に、学長、教授、准教授、助教、助手及び事務職員を置く。ただし、教育研究上の組織編成として適切と認められる場合には、准教授、助教又は助手を置かないことができる。

- 2 前項のほか、副学長、学部長、講師、技術職員、及び客員教授その他必要な教職員を置くことができる。
- 3 第1項及び第2項に掲げるもののほか、図書館長、通信教育課程長、附属教育研究機関長、学科主任及び事務局長を置くことができる。
- 4 前項のほか、学部長補佐、副図書館長、通信教育副課程長及び副附属教育研究機関長等を置くことができる。

## 第5章 大学評議会

第8条 本学に、大学評議会を置く。

- 2 大学評議会は、学長の諮問に応じて、第9条に掲げる事項を審議する。
- 3 大学評議会は、次の各号に掲げる大学評議員をもって組織する。
  - (1) 学長
  - (2) 副学長
  - (3) 学部長
  - (4) 大学院研究科長
  - (5) 通信教育課程長
  - (6) 全学共通教育委員会委員長
  - (7) 図書館長
  - (8) 各学部所属教授各2名及び全学共通教育委員会構成員教授3名

- 4 学長は、大学評議会を招集し、その議長となる。
- 5 大学評議会の運営について必要な事項は、別に定める。

第9条 大学評議会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育、研究に関する全学的重要事項
- (2) 学則その他重要な規則に関する全学的共通事項
- (3) 学生の厚生補導及びその身分の基準に関する事項
- (4) 全学共通科目及び全学的な資格科目に関する事項
- (5) その他必要と認められる事項

## 第6章 教授会等

第10条 本学各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、当該学部に所属する専任の教授、准教授、講師、助教をもって、これを組織する。
- 3 学部長は、教授会を招集し、その議長となる。
- 4 教授会は、必要があると認めるとき各種の委員会を置くことができる。
- 5 教授会の運営について必要な事項は、別に定める。

第11条 教授会は、当該学部に関わる次の各号に掲げる事項について審議するものとする。

- (1) 学生の入学及び卒業に関する事項
  - (2) 学位の授与に関する事項
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が定める事項
- 2 学長は、前項に定める事項の決定にあたり、教授会の審議結果の報告を受け、これを参酌するものとする。
  - 3 教授会は、第1項に定めるもののほか、当該学部の教育研究に関する事項について審議し、学長に報告するものとする。
  - 4 第1項第3号及び前項に定める事項については、教授会運営細則に定める。

第12条 教授会が必要と認めるとき、教授会構成員の一部をもって組織する代表委員会を置くことができる。

- 2 前項の場合、代表委員会の議決をもって、教授会の議決とすることができる。
- 3 代表委員会の審議事項は、教授会が定める。
- 4 代表委員会の組織、運営について必要な事項は、別に定める。

第13条 第9条1項第4号の審議を円滑にするため、大学評議会の下に、全学共通教育委員会を置く。

- 2 全学共通教育委員会の組織及び運営について必要な事項は、別に定める。

第14条 本学に、大学全体の運営に関する事項を連絡調整するため学部長会を置く。

- 2 学部長会は、学長、副学長、学部長、全学共通教育委員会委員長、大学院研究科長、通信教育課程長及び事務局長をもって組織する。
- 3 前項のほか、学長が必要と認めるとき、他の教職員を加えることができる。
- 4 学部長会の運営について必要な事項は、別に定める。

第14条の2 学長が必要と認めるとき、諮問委員会を置くことができる。諮問委員会の名称、組織、運営等について必要な事項は、別に定める。

## 第7章 学年、学期及び休業日

第15条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第16条 学年を分けて次の2学期とする。

前学期 4月1日から 9月18日まで

後学期 9月19日から 翌年3月31日まで

2 学長は必要により、学期の開始終了について、変更することができる。

第17条 休業日は、次の各号のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 創立記念日 5月20日

(4) 春期休業日 3月25日から 3月31日まで

(5) 夏期休業日 7月28日から 9月18日まで

(6) 冬期休業日 12月24日から 翌年1月7日まで

2 学長は必要により、休業日を変更し、もしくは臨時に休業し、又は休業日に授業をさせることができる。

## 第8章 授業科目、単位及び単位の授与等

第18条 本学で開設する授業科目区分は、全学共通科目、学部共通科目、学科等科目、及び、全学共通教職・資格科目並びに全学共通社会的・職業的自立促進科目とする。

2 各授業科目区分において開設する授業科目及び単位数、並びに履修の方法は、別表第3から第11及び第13-2から第15のとおりとする。

第19条 前条の授業科目の履修形態は、必修科目、選択科目、及び自由科目とする。

第20条 授業科目の単位数を定めるにあたっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

2 卒業研究の単位は、8単位とする。

第21条 卒業研究については、あらかじめ指導教員の指示により、学科主任の承認を得て題目を決定し、最終学年次の各学科指定期日迄に、卒業論文又は卒業制作等を提出しなければならない。

第22条 履修しようとする授業科目は、毎学年次のはじめに届出なければならない。

2 履修について必要な事項は、学部教則に定める。

第23条 単位の授与は、試験によってこれを行う。ただし、授業科目の種類によっては、他の方法によることができる。

第24条 試験は定期的に行う試験と臨時的に行う試験とする。

2 試験について必要な事項は、学部教則に定める。

第25条 いずれの授業科目でも授業時数の3分の1以上欠席した者は、その授業科目の受験資格を失う。ただし、正当な理由による欠席の場合は特に考慮されることがある。

2 正当な理由による授業欠席の取扱いについて必要な事項は、学部教則に定める。

第26条 やむを得ない事由で試験を受けることができなかつた者は、追試験を受けることができる。

2 追試験について必要な事項は、学部教則に定める。

第27条 各授業科目の試験成績の評価は、S、A、B、C又はFで表し、S、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。

2 合格判定科目については、P又はHで表し、Pを合格、Hを不合格とする。

3 第1項の試験成績の評価基準は、Sは100点から90点、Aは89点から80点、Bは79点から70点、及びCは69点から60点とし、Fは次の各号のいずれかに該当するものとする。

(1) 59点以下の場合

(2) 第25条に定める授業時数の3分の1以上欠席した場合

4 第2項に定める成績の評価は、授業の出欠状況、学習態度、学習意欲及び提出課題の報告書等の成績を総合的に判断して行う。

5 前各号の規定にかかわらず、他大学等において修得した単位を認定する場合は、Tで表す。

6 成績の評価について必要な事項は、学部教則に定める。

第27条の2 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

3 前項で定める基準については、各学部がこれを設け、別に公表する。

第28条 進級するためには、学部教則に定める進級基準を満たさなければならない。

2 進級基準は、教授会で定める。

第29条 教授会が教育上有益と認めたととき、他の学部が開設する授業科目を履修することができる。

2 前項により修得した単位は、教授会の定めにより、当該単位を卒業に必要な単位として認めることができる。

第29条の2 教授会が教育上有益と認めたととき、本学大学院が開設する授業科目を履修することができる。

2 前項により履修した授業科目の単位は授与しない。

第30条 教授会が教育上有益と認めたとときは、国内及び諸外国の他大学等の授業科目を履修させることができる。

2 前項により学修した授業科目について修得した単位は、教授会の議を経て認定することができる。ただし、60単位を超えて認定することはできない。

3 国内及び諸外国の他大学等における授業科目の履修について必要な事項は、別に定める。

#### 第9章 教育課程の履修方法等

第31条 授業科目の履修については、全学共通科目、学部共通科目、学科科目を体系的に履修するものとする。

第32条 1年間に履修できる授業科目の単位数は、45単位を超えることはできない。

2 教授会が必要と認めたととき、前項に定める上限を超えて履修単位の登録を認めることができる。

#### 第10章 卒業の要件及び学士の学位の授与

第33条 本学を卒業するには、4年以上在学し、全学共通科目32単位以上、並びに学部共通科目及び学科科目から92単位以上、合計124単位以上を修得しなければならない。

2 第34条及び第35条に定める全学共通教職・資格科目の単位を修得した場合は、教授会が定めれば、当該単位のうち12単位までを限度とし、全学共通科目の修得単位に充てることができる。

3 その他の卒業の要件について必要な事項は、学部教則に定める。

4 第34条及び第35条に定める全学共通教職・資格科目等の単位を修得した場合は、教授会が定めれば、当該単位を28単位を限度として、卒業に必要な単位として認めることができる。ただし、前項の規定により、全学共通科目の修得単位として充てたものを除くものとする。

5 卒業の要件を満たした者には、学士の学位を授与する。

6 本学において授与する学士の学位の種類は、別表第12のとおりとする。

#### 第11章 全学共通教職・資格科目の履修方法等

第34条 教育職員免許状を取得しようとする者は、本学の卒業の要件を満たし、教育職員免許法に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教育職員免許状の種類は、別表第13-1のとおりとする。

第35条 本学において取得できる資格及び資格取得に必要な単位は、別表第13-2及び第14のとおりとする。

#### 第12章 入学、転学、転部、転科、休学、退学及び除籍

第36条 本学の入学の時期は、学年の始めとする。

2 科目等履修生及び研究生の入学の時期について必要な事項は、別に定める。

第37条 本学に入学することのできる者は、次の各号の1に該当する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 中等教育学校を卒業した者

(3) 通常課程による12年の学校教育を修了した者

(4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(6) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(7) 文部科学大臣の指定した者

- (8) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (9) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第38条 入学は選考の上、これを許可する。

- 2 本学へ入学を志願する者は、所定の出願書類を提出し、入学検定料を納めなければならない。
- 3 入学者の選考について必要な事項は、別に定める。

第39条 入学の許可を得た者は、保証人を定めた上、所定の書類及び学費を納めなければならない。

- 2 前項に掲げる保証人及び所定の書類等について必要な事項は、別に定める。

第40条 本学の第2年次及び第3年次への編入学を志望する者があるときは、当該学科に欠員がある場合限り、選考の上、入学を許可することがある。

- 2 編入学の選考について必要な事項は、別に定める。

第41条 本学に編入学できる者は、次の各号の1に該当する者とする。

- (1) 学士の学位もしくは学士号を有する者
- (2) 短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者
- (3) 学校教育法第58条の2に該当する者
- (4) 学校教育法第132条に該当する者
- (5) 大学、短期大学に1年以上在学した者

- 2 編入学の許可を得た者の本学への入学の手続きは、第39条に準ずるものとする。

第42条 編入学した者の本学において在学すべき年数は、前条第1項各号に掲げる大学等における修業年数に相当する年数以下の期間を控除した期間とすることができる。

- 2 その他、編入学について必要な事項は、別に定める。

第43条 本学が教育上有益と認めたとき、本学に入学する前に大学又は短期大学等において修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学において修得した単位として認定することができる。

- 2 前項により認定された単位数と第30条第2項により認定された単位数の合計は、60単位を超えてはならない。

- 3 単位の認定について必要な事項は、別に定める。

第44条 本学在学学生で、他学部への転部、他学科への転科を志願する者がある時は、教授会の議を経て学長がこれを許可することができる。

- 2 転部・転科に関し、必要な事項は別に定める。

第45条 病気その他やむを得ない事由で3ヶ月以上休学できない者は、休学することができる。その場合、医師の診断書又は理由書を添え、休学願を保証人連署の上、願い出て、許可を受けなければならない。

- 2 休学は当該年度限りとする。ただし、引き続き休学する場合は、許可を得て休学を延長することができる。

- 3 休学期間は通算して4年を超えることができない。

- 4 休学期間は在学期間に算入しない。

- 5 休学した者は、休学の事由が消滅したとき、又は休学の期間が満了したときは、復学することができる。

第46条 前条第1項により休学を許可された者（以下「休学者」という。）は、別表第16に定める在籍料を納めなければならない。

第47条 他大学等への転学、病気、その他の事由により退学する場合は、その理由を添えて保証人と連署の上、願い出て、許可を得なければならない。

第48条 病気のため1週間以上に及び授業を欠席する場合は、医師の診断書を添えて所定の用紙により届出なければならない。

第49条 次の各号の1に該当する者は除籍する。

- (1) 在学期間が所定の年数を超える者
- (2) 学費を滞納し催告しても納入しない者
- (3) 死亡の届け出があった者

- 2 前項第2号により除籍された者が復籍する場合は、所定の学費を納めて当該年度末までに復籍願を提出し、許可を得なければならない。

第50条 本学を退学した者又は除籍となった者で、退学又は除籍後2年以内に同一学部にも再入学を希望する者は、選考の上、再入学することができる。ただし、第49条第1項第1号により除籍となった者及び第55条により退学した者は、再入学することができない。

- 2 再入学について必要な事項は、別に定める。

### 第13章 学費

第51条 学費は、入学金、授業料、施設拡充費、設備費、実験実習費及び図書費とし、別表第16のとおり

とする。

2 入学を許可された者は、所定の期日までに入学手続きと同時に前項の学費を納めなければならない。

3 授業料、施設拡充費、設備費、実験実習費及び図書費は、2期に分けて納めることができる。

4 いったん納入した学費は返還しない。ただし、入学の許可を得た者で、所定の期日までに入学手続きの取消しを願い出た者については、入学金を除く学費を返還する。

第52条 学費を延納しなければならない事由があるときは、直ちにその旨を願い出て許可を受けなければならない。

第53条 成績優秀にして学費の支弁が困難な者には、学費を貸与することができる。

#### 第14章 賞罰

第54条 品行方正で学業優秀な者、又は他の学生の範とすべき篤行ある者は表彰することができる。

第55条 本学学生にして本分に反した行為があった場合はその軽重に従い譴責、停学、又は退学処分に付される。

2 本分に反する行為及びその取扱いについては、別に定める。

第56条 次の各号の1に該当する者は退学させることができる。

(1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者

(2) 学業成績劣等で成業の見込がないと認められる者

(3) 正当の理由がなくて出席常でない者

(4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

#### 第15章 委託生及び科目等履修生

第57条 本学における授業科目の1又は複数を履修しようとする者があるときは、選考の上、科目等履修生、委託生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生及び委託生に関する学費等必要な事項は、別に定める。

#### 第16章 研究生及び聴講生

第58条 本学において学位取得を目的とせず、特定主題について研究を志願する者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関する学費等必要な事項は、別に定める。

第58条の2 本学において聴講を志願する者があるときは、当該学部の教育及び研究に妨げのない限り、選考の上、聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生に関する学費等必要な事項は、別に定める。

#### 第17章 公開講座等

第59条 本学は、公開講座及び教員免許状更新講習等を開設することができる。

2 公開講座及び教員免許状更新講習等について必要な事項は、別に定める。

#### 第18章 自己点検・評価等

第60条 本学の教育研究水準の向上を図り、本学設置の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の自己点検・評価の結果について、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を受けるものとする。

3 自己点検・評価の実施について必要な事項は、別に定める。

第61条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 前項の研修及び研究の実施について必要な事項は、別に定める。

第62条 本学は、教育研究活動等の状況並びに教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報等（以下「教育情報」という。）を公表する。

2 教育情報の公表について必要な事項は、別に定める。

附 則 本学則は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則 昭和40年4月1日改正

附 則 昭和41年4月1日改正

附 則 昭和42年4月1日改正

附 則 昭和45年4月1日改正

ただし、第46条、第48条、第49条、第50条については昭和45年度入学生より適用する。

附 則 昭和46年4月1日改正

附 則 昭和47年4月1日改正

ただし、第6条、第14条、第16条、第17条、第18条、第19条、第20条、第21条、第23条、第24条、第30条、第46条、第49条については昭和47年度入学生より適用する。

附 則 昭和50年4月1日改正

ただし、第46条、第49条、第50条については昭和50年度入学生より適用する。

附 則 昭和53年4月1日改正

ただし、第46条、第49条、第50条については昭和53年度入学生より適用する。

附 則 昭和55年4月1日改正

ただし、別表7については昭和55年度入学生より適用する。

附 則 昭和56年4月1日改正

ただし、昭和55年度以前の入学生については、第14条、第19条、第20条、第21条、第33条及び別表10（学費）に限り従前の例による。

附 則 昭和58年4月1日改正

ただし、昭和57年度以前の入学生については、別表10（学費）に限り従前の例による。

附 則 昭和61年4月1日改正

第6条に規定する学生定員は、平成12年度から平成16年度までの間は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
理工学部	物理学科	100人
	化学科	120
	機械工学科	170
	電気工学科	170
	土木工学科	150
人文学部	英語英文学科	120
	社会学科	160
	心理・教育学科	280
	経済学科	240
計		1,510人

附 則 昭和62年4月1日改正

ただし、昭和61年度以前の入学生については、別表7及び別表10（学費）に限り従前の例による。

附 則 昭和63年4月1日改正

ただし、昭和62年度以前の入学生については、別表10（学費）に限り従前の例による。

附 則 平成元年4月1日改正

ただし、第15条、第18条、第22条、第25条2項、第31条、第38条2項については平成元年度入学生より適用する。昭和63年度以前の入学生については別表10（学費）に限り従前の例による。

附 則 平成2年4月1日改正

ただし、第23条については平成2年度入学生より適用する。  
平成元年度以前の入学生については別表10（学費）に限り従前の例による。

附 則 平成3年4月1日改正

ただし、第23条については平成3年度入学生より適用する。平成2年度以前の入学生については別表10（学費）に限り従前の例による。

附 則 平成4年4月1日改正

ただし、第40条第2項第3項については平成3年7月1日より適用する。

附 則 平成5年4月1日改正

ただし、改正後の第41条第1項理工学部および人文学部にかかわる修得単位126単位の部分については、平成5年4月1日入学生より適用する。

附 則 平成6年4月1日改正

附 則 平成7年4月1日改正

ただし、改正後の第41条第1項理工学部にかかわる修得単位124単位の部分については、平成7年4月1日入学生より適用する。

附 則 平成8年4月1日改正

ただし、改正後の第41条第1項、情報学部及び日本文化学部に係る修得単位124単位の部分については、平成8年4月1日入学生より適用する。

附 則 平成9年4月1日改正

附 則 平成10年4月1日改正

附 則 平成11年4月1日改正

附 則 平成12年4月1日改正

ただし、第3条(4)は平成12年度入学生より適用する。

生活芸術学科存続に関する経過措置

生活芸術学科は、改正後の学則第3条(4)の規定にかかわらず、平成12年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

第6条に規定する入学定員は、平成12年度から平成16年度までの間は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員				
		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
理工学部	物理学科	84	80	80	80	80
	化学科	120	120	112	100	100
	機械工学科	170	170	170	170	170
	電気工学科	170	170	170	170	170
	土木工学科	150	150	150	150	150
人文学部	英語英文学科	120	108	100	100	100
	社会学科	160	160	160	156	140
	心理・教育学科	280	280	280	280	280
	経済学科	240	240	240	240	240
情報学部	電子情報学科	100	100	100	100	100
	経営情報学科	160	160	160	160	160



日本文化学部	言語文化学科	120	120	120	120	120
	造形芸術学科	120	120	120	120	120
計		1,994	1,978	1,962	1,946	1,930

附 則 平成13年4月1日改正

ただし、第3条(3)は平成13年度入学生より適用する。

人文学部経済学科の存続に関する経過措置

人文学部経済学科は、改正後の学則第3条(4)の規定にかかわらず平成13年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

臨時的定員の延長に関する経過措置

第6条に規定する入学定員は、平成13年度から平成16年度までの間は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員			
		13年度	14年度	15年度	16年度
理工学部	物理学科	80	80	80	80
	化学科	100	100	100	100
	機械工学科	170	170	170	170
	電気工学科	170	170	170	170
	土木工学科	150	150	150	150
人文学部	英語英文学科	100	100	100	100
	社会学科	148	140	140	140
	心理・教育学科	280	272	256	240
経済学部	経済学科	280	280	280	280
情報学部	電子情報学科	100	100	100	100
	経営情報学科	160	160	160	160
日本文化学部	言語文化学科	120	120	120	120
	造形芸術学科	120	120	120	120
計		1,978	1,962	1,946	1,930

附 則 平成13年12月21日改正

附 則 平成14年4月1日改正

附 則 平成15年4月1日改正

ただし、第3条(2)は平成15年度入学生より適用する。

社会学科存続に関する経過措置

社会学科は、改正後の学則第3条(2)の規定にかかわらず、平成15年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則 平成16年4月1日改正

ただし、第67条は、平成16年4月1日に在籍する者より適用する。

附 則 平成17年4月1日改正

ただし、改正日以前の入学生については、従前の学則を適用する。

1 本学則は、平成17年4月1日1年次入学者より適用する。

## 2 経過措置

明星大学の理工学部機械工学科、電気工学科、土木工学科、人文学部英語英文学科、情報学部電子情報学科、経営情報学科及び日本文化学部造形芸術学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず当該学科に在籍する者が存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則 平成18年4月1日改正

改正後の第45条については、改正日以前に在籍している者にも適用する。

附 則 平成19年4月1日改正

改正後、第18条別表第3-1及び別表第3-2における開設科目の内、以下の2科目は、改正日以前に在籍していた者にも適用する。

- ・ 特別講義A
- ・ 特別講義B

附 則 平成20年4月1日改正

本学則第3条の2に定める学部又は学科ごとの人材の養成に関する目的等については、各学部教則等に明示する。

附 則 平成21年4月1日改正

附 則 平成22年4月1日改正

1 本学則は、平成22年4月1日1年次入学者より適用する。

## 2 経過措置

明星大学の理工学部物理学科、化学科、機械システム工学科、電気電子システム工学科、建築学科及び環境システム学科並びに人文学部心理・教育学科並びに日本文化学部言語文化学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、当該学科に在籍するものが存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則 平成23年4月1日改正

附 則 平成24年4月1日改正

ただし、改正日以前の入学生については、従前の学則を適用する。

1 本学則は、平成24年4月1日1年次入学者より適用する。

## 2 経過措置

明星大学の経済学部経営学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、当該学科に在籍する者が存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

## 3 適用

改正後、第18条別表第3における開設科目の内、以下の2科目は、改正日以前に在籍していた者にも適用する。

- ・ 自立と体験3
- ・ 自立と体験4

附 則 平成25年4月1日改正

附 則 平成26年4月1日改正

1 本学則は、平成26年4月1日1年次入学者より適用する。

## 2 経過措置

明星大学の造形芸術学部造形芸術学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、当該学科に在籍する者が存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則 平成27年1月1日改正

附 則 平成27年4月1日改正

附 則 平成28年4月1日改正

附 則 平成29年4月1日改正

1 本学則は、平成29年4月1日1年次入学者より適用する。

2 経過措置

明星大学の人文学部心理学科は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、当該学科に在籍する者が存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則 平成30年4月1日改正

別表第1及び別表第2

別表第3

別表第4

別表第5-1～別表第5-5

別表第6

別表第7

別表第8

別表第9

別表第10

別表第11

別表第12

別表第13-1及び別表第13-2

別表第14-1～別表第14-8

別表第15及び別表第16

別表第1 明星大学附属教育研究機関

- 1 情報科学研究センター
- 2 国際教育センター
- 3 連携研究センター
- 4 明星教育センター
- 5 心理相談センター
- 6 発達支援研究センター
- 7 教職センター

別表第2 収容定員

学 部	学 科	入学定員	収容定員
理工学部	総合理工学科	400	1,600
人文学部	国際コミュニケーション学科	100	400
	人間社会学科	80	320
	日本文化学科	100	400
	福祉実践学科	60	240
経済学部	経済学科	260	1,040
情報学部	情報学科	140	560
教育学部	教育学科	350	1,400
経営学部	経営学科	200	800
デザイン学部	デザイン学科	120	480
心理学部	心理学科	120	480
計		1,930	7,720

別表第3 全学共通科目及び単位数

授業科目の名称	単位数または時間数		
	必修	選択	自由
自立と体験1	2		
哲学1		2	
哲学2		2	
倫理学1		2	
倫理学2		2	
論理学1		2	
論理学2		2	
宗教学1		2	
宗教学2		2	
美学1		2	
美学2		2	
心理学1		2	
心理学2		2	
教育学1		2	
教育学2		2	
倫理学3		2	
倫理学4		2	
美学3		2	
美学4		2	
哲学3		2	
哲学4		2	
思想への招待		2	
健康・スポーツ科学論	2		
健康・スポーツ演習1	1		
健康・スポーツ演習2			
健康・スポーツ演習3			
健康・スポーツ演習4			
外国語(英語)1A		1	
外国語(英語)1B		1	
外国語(英語)2A		1	
外国語(英語)2B		1	
外国語(ドイツ語)1A		1	
外国語(ドイツ語)1B		1	
外国語(ドイツ語)2A		1	
外国語(ドイツ語)2B		1	
外国語(フランス語)1A		1	
外国語(フランス語)1B		1	
外国語(フランス語)2A		1	
外国語(フランス語)2B		1	
外国語(中国語)1A		1	
外国語(中国語)1B		1	
外国語(中国語)2A		1	
外国語(中国語)2B		1	
外国語(韓国語)1A		1	
外国語(韓国語)1B		1	
外国語(韓国語)2A		1	
外国語(韓国語)2B		1	
日本語1A		1	
日本語1B		1	
日本語2A		1	

日本語2B		1
情報リテラシーa	2	
情報リテラシーb	2	
言語学1		2
言語学2		2
言葉の思想		2
科学コミュニケーション論		2
映画と音楽で学ぶ英語		2
異文化体験		2
異文化で学ぶ英語		2
外国語(英語)3A		1
外国語(英語)3B		1
外国語(英語)4A		1
外国語(英語)4B		1
外国語(ドイツ語)3A		1
外国語(ドイツ語)3B		1
外国語(ドイツ語)4A		1
外国語(ドイツ語)4B		1
外国語(フランス語)3A		1
外国語(フランス語)3B		1
外国語(フランス語)4A		1
外国語(フランス語)4B		1
外国語(中国語)3A		1
外国語(中国語)3B		1
外国語(中国語)4A		1
外国語(中国語)4B		1
外国語(韓国語)3A		1
外国語(韓国語)3B		1
外国語(韓国語)4A		1
外国語(韓国語)4B		1
日本語3A		1
日本語3B		1
日本語4A		1
日本語4B		1
上級英語1		1
上級英語2		1
上級ドイツ語1		1
上級ドイツ語2		1
上級フランス語1		1
上級フランス語2		1
上級中国語1		1
上級中国語2		1
上級韓国語1		1
上級韓国語2		1
上級英語3		1
上級英語4		1
上級ドイツ語3		1
上級ドイツ語4		1
上級フランス語3		1
上級フランス語4		1
上級中国語3		1
上級中国語4		1
上級韓国語3		1
上級韓国語4		1

日本事情1	2
日本事情2	2
外国事情1	2
外国事情2	2
日本の文学1	2
日本の文学2	2
外国の文学1	2
外国の文学2	2
文化人類学1	2
文化人類学2	2
人文科学論1	2
人文科学論2	2
日本史1	2
日本史2	2
西洋の歴史と文化1	2
西洋の歴史と文化2	2
中国の歴史と文化1	2
中国の歴史と文化2	2
考古学1	2
考古学2	2
日本の芸能1	2
日本の芸能2	2
日本民俗学1	2
日本民俗学2	2
自然科学史	2
図像学	2
人文科学論3	2
人文科学論4	2
日本史3	2
日本史4	2
社会の仕組みと人間の営み1	2
社会の仕組みと人間の営み2	2
法学1	2
法学2（日本国憲法）	2
現代政治を読み解く1	2
現代政治を読み解く2	2
社会科学論1	2
社会科学論2	2
国際関係論1	2
国際関係論2	2
21世紀経済への視点1	2
21世紀経済への視点2	2
グローバル時代の経営1	2
グローバル時代の経営2	2
情報社会文化論1	2
情報社会文化論2	2
生涯学習論1	2
生涯学習論2	2
図書館の基礎と展望	2
社会に生きる私たちの人権	2
女性の生き方	2
地図を読む	2
ボランティア論	2
情報法制論	2

地球惑星学1		2	
地球惑星学2		2	
科学技術論1		2	
科学技術論2		2	
統計学1		2	
統計学2		2	
基礎数学1		2	
基礎数学2		2	
生物学1		2	
生物学2		2	
物理学1		2	
物理学2		2	
化学1		2	
化学2		2	
自然科学入門1		2	
自然科学入門2		2	
生物学3		2	
生物学4		2	
人類と環境		2	
特別講義1		2	
特別講義2		1	
特別講義3		2	
特別講義4		1	
計	9	279	0

備考

1. 「外国語」の修得方法は、開設する外国語の内1カ国語8単位を修得するものとする。
2. 「外国語」の内「日本語」については、外国人留学生は必修とする。
3. 「日本事情」については、外国人留学生は必修とする。
4. 「法学2(日本国憲法)」は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」とする。
5. 「健康・スポーツ科学論」及び「健康・スポーツ演習」は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「体育」とする。
6. 各外国語の「外国語1A」、「外国語1B」、「外国語2A」及び「外国語2B」は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「外国語コミュニケーション」とする。
7. 「情報リテラシーa」及び「情報リテラシーb」は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「情報機器の操作」とする。



別表第4 学科科目及び単位数（理工学部総合理工学科）

授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由	
学科共通科目				
数学演習		1		
物理演習		1		
化学演習		1		
基礎代数学Ⅰ	2			
基礎代数学Ⅱ		2		
基礎解析学Ⅰ	2			
基礎解析学Ⅱ		2		
情報処理Ⅰ		2		
情報処理Ⅱ		2		
プロジェクトⅠ	1			
プロジェクトⅡ	1			
プロジェクトⅢ	1			
プロジェクトⅣ	1			
プロジェクトⅤ	1			
プロジェクトⅥ	1			
理工実験実習Ⅰ	2			
理工実験実習Ⅱ	2			
自立と体験2	2			
インターンシップ		2		
技術者の生き方と安全管理		2		環境科学系の必修
理学領域（物理学系）				
基礎力学Ⅰ		2		学系の選択必修
基礎力学Ⅱ		2		学系の選択必修
基礎現代物理		2		
基礎電磁気学Ⅰ		2		学系の選択必修
基礎電磁気学Ⅱ		2		学系の選択必修
解析力学Ⅰ		2		学系の選択必修
電磁気学Ⅰ		2		学系の選択必修
量子力学Ⅰ		2		学系の選択必修
応用解析Ⅰ		2		
物理実験学		2		
解析力学Ⅱ		2		学系の選択必修
電磁気学Ⅱ		2		学系の選択必修
量子力学Ⅱ		2		学系の選択必修
確率科学		2		
振動と波動		2		
生物物理学		2		
天文学Ⅰ		2		
天体観測		2		
応用解析Ⅱ		2		
流体と弾性体		2		
放射線物理学		2		
天文学Ⅱ		2		
統計科学		2		
統計熱力学Ⅰ		2		学系の選択必修
統計熱力学Ⅱ		2		学系の選択必修
原子核物理学		2		
計算物理学Ⅰ		2		
計算物理学Ⅱ		2		
素粒子物理学		2		
物性物理学Ⅰ		2		
物性物理学Ⅱ		2		

相対性理論		2		
光学		2		
離散代数		2		
量子力学Ⅲ		2		
量子エレクトロニクス		2		
宇宙線		2		
原子物理学		2		
天体物理		2		
プラズマ物理		2		
量子力学Ⅳ		2		
宇宙論		2		
応用物性		2		
理学領域（生命科学・化学系）				
基礎物理化学		2		学系の選択必修
基礎無機化学		2		学系の選択必修
基礎分析化学		2		学系の選択必修
基礎有機化学		2		学系の選択必修
物理化学Ⅰ		2		学系の選択必修
分析化学Ⅰ		2		学系の選択必修
有機化学Ⅰ		2		学系の選択必修
無機化学Ⅰ		2		学系の選択必修
生化学Ⅰ		2		学系の選択必修
細胞生物学		2		学系の選択必修
分子生物学Ⅰ		2		学系の選択必修
ナノ・バイオテクノロジー		2		学系の選択必修
無機化学Ⅱ		2		
応用無機化学		2		
錯体化学		2		
無機材料化学		2		
物理化学Ⅱ		2		
物理化学Ⅲ		2		
量子電算機化学		2		
応用物理化学		2		
分析化学Ⅱ		2		
有機化学Ⅱ		2		
有機物性化学		2		
有機化学Ⅲ		2		
有機機能化学		2		
生化学Ⅱ		2		
機器分析学		2		
生体物質化学		2		
微生物学		2		
生体触媒化学		2		
分子生物学Ⅱ		2		
構造生物学		2		
生命工学		2		
高次生命機能学		2		
化学・生命科学実験Ⅰ		3		学系の選択必修
化学・生命科学実験Ⅱ		3		学系の選択必修
化学・生命科学実験Ⅲ		3		学系の選択必修
化学・生命科学実験Ⅳ		3		学系の選択必修
化学・生命科学特別演習Ⅰ		1		
化学・生命科学特別演習Ⅱ		1		
工学領域（機械工学系）				
ものづくりⅠ		2		学系の選択必修
ものづくりⅡ		2		学系の選択必修
機械工学系基礎実験Ⅰ		2		学系の選択必修

機械工学系基礎実験Ⅱ		2	学系の選択必修
熱力学Ⅰ		2	学系の選択必修
熱力学Ⅱ		2	学系の選択必修
材料の強さⅠ		2	学系の選択必修
材料の強さⅡ		2	学系の選択必修
流れ学Ⅰ		2	学系の選択必修
流れ学Ⅱ		2	学系の選択必修
機械力学Ⅰ		2	学系の選択必修
機械力学Ⅱ		2	学系の選択必修
機械製図		2	学系の選択必修
機械加工学Ⅰ		2	学系の選択必修
3D-CAD		2	学系の選択必修
機械材料学Ⅰ		2	
機械加工学Ⅱ		2	
機械材料学Ⅱ		2	
機械工学系実験Ⅰ		2	学系の選択必修
機械工学系実験Ⅱ		2	学系の選択必修
機械設計製図Ⅰ		2	学系の選択必修
創造工作実習		1	
応用材料力学Ⅰ		2	
応用材料力学Ⅱ		2	
伝熱学		2	
エンジン工学		2	
流体工学Ⅰ		2	
流体工学Ⅱ		2	
制御工学		2	
ロボット工学		2	
設計工学Ⅰ		2	
機械設計製図Ⅱ		2	
設計工学Ⅱ		2	
生産加工概論		2	
社会エネルギー工学概論		2	
工学領域（電気電子工学系）			
電気数学演習Ⅰ		1	
電気数学演習Ⅱ		1	
電気数学演習Ⅲ		1	
電気数学演習Ⅳ		1	
電気電子工学入門		2	
電気電子実験		2	学系の選択必修
電気回路学		3	
基礎電磁気学		3	
交流回路学		3	
電磁気学		3	
プログラミング基礎		2	
プログラミング応用		2	
電子回路学		2	
コンピュータ入門		2	
コンピュータ構成論		2	
デジタル制御		2	
エネルギー工学		2	
電気電子実習Ⅰ		1	集中
情報通信実験		2	学系の選択必修
電力電子実習Ⅰ		1	集中
情報通信実習Ⅰ		1	集中
電力電子実験		2	学系の選択必修
回路解析学		2	
応用電磁気学		2	

電気電子計測		2		
半導体工学		2		
電気法規		2		
電気電子製図		2		
通信法規		2		
電気材料工学		2		
発電工学		2		
電力電子工学		2		
電力工学		2		
電気機器学		2		
高電圧工学		2		
データ処理論		2		
情報経営論		2		
情報通信論		2		
通信網論		2		
信号解析学		2		
電力電子実習Ⅱ		1	集中	
電気電子実習Ⅱ		1	集中	
情報通信実習Ⅱ		1	集中	
電気電子工学総論		2		
<b>工学領域（建築学系）</b>				
意匠・デッサン実習		2		学系の選択必修
住宅論		2		学系の選択必修
建築基礎力学		2		
建築材料実験		2		
建築設計製図Ⅰ		2		学系の選択必修
建築設計製図Ⅱ		2		学系の選択必修
建築計画Ⅰ		2		学系の選択必修
日本建築史		2		学系の選択必修
西洋建築史		2		学系の選択必修
建築環境学Ⅰ		2		学系の選択必修
建築設備Ⅰ		2		学系の選択必修
建築構造力学		2		学系の選択必修
建築材料学		2		学系の選択必修
材料力学		2		
木構造		2		
建築構造実験		2		
ランドスケープ		2		
インテリアデザイン		2		
人間工学とユニバーサルデザイン		2		
建築診断・リフォーム		2		
ワークショップ		1		
都市計画		2		
耐震工学		2		
構造デザイン		2		
安全防災		2		
建築ライフサイクル		2		
建築構造解析		2		学系の選択必修
建築施工管理		2		学系の選択必修
建築法規		2		学系の選択必修
建築構法		2		学系の選択必修
建築設計製図Ⅲ		2		
建築設計製図Ⅳ		2		
建築計画Ⅱ		2		
建築意匠		2		
建築環境学Ⅱ		2		
建築設備Ⅱ		2		

鉄筋コンクリート構造		2		
建築鉄骨構造		2		
地盤工学		2		
建築マネジメント		2		
測量学実習		2		
工学領域（環境科学系）				
環境基礎ゼミ		1		学系の選択必修
基礎環境学Ⅰ		2		学系の選択必修
基礎環境学Ⅱ		2		学系の選択必修
基礎環境化学		2		学系の選択必修
都市環境計画		2		学系の選択必修
気象・熱環境学		2		学系の選択必修
環境微生物学		2		学系の選択必修
水・土壌環境学		2		学系の選択必修
廃棄物学		2		学系の選択必修
大気環境学		2		学系の選択必修
環境情報処理		2		学系の選択必修
地球環境学		2		
都市環境保全		2		
基礎生態学		2		
環境経済学		2		
環境化学実験		2		
群集生態学		2		
水・土壌汚染制御		2		
応用環境化学		2		
環境総合科学		2		学系の選択必修
環境アセスメント		2		学系の選択必修
環境政策論		2		
環境流体解析		2		
大気・熱汚染制御		2		
都市環境計画演習		1		
交通環境学		2		
都市管理論		2		
景観生態学		2		
環境バイオ・エコテクノロジー		2		
環境微生物実験		2		
水・土壌分析実験		2		
環境衛生学		2		
廃棄物管理		2		
環境分析化学		2		
環境機器分析実験		2		
資源リサイクル学		2		
環境材料学		2		
環境水理学		2		
地球惑星ダイナミクス概論		2		
環境協力事例		2		
卒業研究				
ゼミナールⅠ		1		
ゼミナールⅡ		1		
卒業研究	8			

別表第5—1 学部共通科目及び単位数（人文学部）

授業科目の名称	単位数または時間数			備 考
	必修	選択	自由	
自己と社会 I		2		福祉実践学科 学科科目
自己と社会 II		2		
思想特講A		2		
思想特講B		2		
思想研究 I		2		
思想研究 II		2		
健康・スポーツ科学研究 I		2		
健康・スポーツ科学研究 II		2		
子ども福祉論		2		
障害学 I		2		
ラテン語1		2		
ラテン語2		2		
言語・文化特講A		2		
言語・文化特講B		2		
言語・文化特講C		2		
言語・文化特講D		2		
言語・文化研究 I		2		
言語・文化研究 II		2		
編集論		2		
日本語教育		2	日本文化学科 学科科目	
日本文学入門		2		
対照言語論		2		
コミュニケーション論 II a		2	国際コミュニ ケーション学科 学科科目	
コミュニケーション論 II b		2		
フィールドワーク I (理論)		2		
フィールドワーク II (理論)		2		
フィールドワーク III (実習)		2		
文化を比較する1		2	日本文化学科 学科科目	
文化を比較する2		2		
都市地理学1		2		
都市地理学2		2		
歴史・文化特講A		2		
歴史・文化特講B		2		
歴史・文化特講C		2		
歴史・文化特講D		2		
歴史・文化研究 I		2		
歴史・文化研究 II		2		
西洋美術史1		2		
西洋美術史2		2		
社会・情報特講A		2		福祉実践学科 学科科目
社会・情報特講B		2		
社会・情報研究 I		2		
社会・情報研究 II		2		
障害者スポーツ論		2		
ケアと臨床の社会学		2		
子育て支援論		2		
マイノリティ論		2		
社会福祉学特講 I (福祉住環境論)		2		

ライフコース論		2	}
ジェンダー論		2	
世代の社会学		2	
市民活動論		2	
経済社会学		2	
科学技術社会論		2	
アジア社会論		2	
リスク社会論		2	
社会イノベーション論		2	
福祉社会学		2	
宗教社会学		2	
権力と支配の社会学		2	
計		120	

備考

学部共通科目について

1. 別表第5-1に記載の学科科目は、当該学科の学生以外は学部共通科目として履修が可能である。  
なお、当該学科の学生においては、学部共通科目として履修することはできない。

別表第5—2 学科科目及び単位数（国際コミュニケーション学科）

授業科目の名称	単位数または時間数			備 考
	必修	選択	自由	
自立と体験2	2			
基礎研究	2			
コミュニケーション外国語Ⅰa	1			
コミュニケーション外国語Ⅰb	1			
コミュニケーション外国語Ⅰc	1			
コミュニケーション外国語Ⅰd	1			
コミュニケーション外国語Ⅰe	1			
コミュニケーション外国語Ⅰf	1			
専門基礎研究Ⅰ	2			
専門基礎研究Ⅱ	2			
コミュニケーション外国語Ⅱa	1			
コミュニケーション外国語Ⅱb	1			
コミュニケーション外国語Ⅱc	1			
コミュニケーション外国語Ⅱd	1			
コミュニケーション外国語Ⅱe	1			
コミュニケーション外国語Ⅱf	1			
専門研究1	2			
専門研究2	2			
専門研究3	2			
専門研究4	2			
卒業研究	8			
語学研究Ⅰa(英語)		2		
語学研究Ⅰb(英語)		2		
語学研究Ⅰc(中国語)		2		
文化・文学論Ⅰa		2		
文化・文学論Ⅰb		2		
コミュニケーション論Ⅰa		2		
コミュニケーション論Ⅰb		2		
異文化理解論Ⅰa		2		
異文化理解論Ⅰb		2		
留学Ⅰ		2		

国際キャリア開発講座		2		
フィールドワーク(理論)Ⅰ		2		
フィールドワーク(理論)Ⅱ		2		
フィールドワーク(実習)Ⅲ		2		
語学研究Ⅱa(英語)		2		
語学研究Ⅱb(英語)		2		
語学研究Ⅱc(中国語)		2		
文化・文学論Ⅱa		2		
文化・文学論Ⅱb		2		
コミュニケーション論Ⅱa		2		
コミュニケーション論Ⅱb		2		
異文化理解論Ⅱa		2		
異文化理解論Ⅱb		2		
留学Ⅱ		2		
コミュニケーション外国語Ⅲa		1		
コミュニケーション外国語Ⅲb		1		
コミュニケーション外国語Ⅲc (TOEIC/中検)		1		
語学研究Ⅲa(英語)		2		
語学研究Ⅲb(中国語)		2		
コミュニケーション論Ⅲ		2		
フィールドワーク(理論)Ⅳ		2		
フィールドワーク(理論)Ⅴ		2		
フィールドワーク(実習)Ⅵ		2		
コミュニケーション外国語Ⅳa		1		
コミュニケーション外国語Ⅳb		1		
コミュニケーション外国語Ⅳc (TOEIC/中検)		1		
語学研究Ⅳa		2		
語学研究Ⅳb		2		
専門応用研究Ⅰ		2		
専門応用研究Ⅱ		2		
計	36	74		

<注>

全学共通社会的・職業的自立促進科目の内、「自立と体験3」又は「自立と体験4」の単位を修得した場合は、4単位まで学科科目の選択科目にあてることができる。

別表第5—3 学科科目及び単位数(人間社会学科)

授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由	
レポート作成とプレゼンテーション	2			
自立と体験2	2			
社会学への招待A	2			
社会学への招待B	2			
社会学研究1A	2			
社会学研究1B	2			
社会学原論A	2			
社会学原論B	2			
社会調査法A	2			◆
社会調査法B	2			◆
社会学研究2A	2			
社会学研究2B	2			



卒業研究	8			
現代日本社会史		2		12単位以上得 すること
社会学史		2		
アイデンティティの社会学		2		
家族社会学		2		
教育社会学		2		
地域社会学		2		
産業社会学		2		
環境社会学		2		
グローバル化の社会学		2		
階級・階層論		2		
情報社会論		2		
社会保障論		2		
文化の社会学		2		
逸脱行動の社会学		2		
現代社会学理論A		2		
現代社会学理論B		2		
社会学文献購読A		2		
社会学文献購読B		2		
社会調査実習		4	◆	
データ理解の基礎		2	◆	
統計学の基礎		2	◆	
量的データ分析		2	◆	
質的データ分析		2	◆	
マイノリティの社会学		2		
ライフコース論		2		
ワーク・ライフ・バランスの社会学		2		
ジェンダー論		2		
学校社会学		2		
世代の社会学		2		
コミュニティ形成論		2		
市民活動論		2		
仕事の社会学		2		
経済社会学		2		
社会紛争論		2		
科学技術社会論		2		
多文化社会論		2		
アジア社会論		2		
格差社会論		2		
リスク社会論		2		
地域情報論		2		
社会イノベーション論		2		
セーフティネット論		2		
福祉社会学		2		
メディアとコミュニケーションの社会学		2		
宗教社会学		2		
犯罪と非行の社会学		2		
権力と支配の社会学		2		
計	32	96		22単位以上修 得するこ

<注>

- ◆印の科目は、社会調査士資格取得に関する科目である。

別表第5—4 学科科目及び単位数（日本文化学科）

授業科目の名称	単位数または時間数			備 考
	必修	選択	自由	
自立と体験2	2			
日本語レベルアップ1	1			
日本語レベルアップ2	1			
身体表現文化1	2			
身体表現文化2		2		
伝統文化論1	2			
伝統文化論2	2			
比較文化論1	2			
比較文化論2	2			
日本文化基礎演習1	1			
日本文化基礎演習2	1			
日本文化演習1	1			
日本文化演習2	1			
比較文化基礎演習1	1			
比較文化基礎演習2	1			
比較文化演習1	1			
比較文化演習2	1			
歴史入門A(日本の歩み)		2		
歴史入門B(西洋と日本)		2		
古文入門		2		
古典精読1A(古文)		2		
古典精読2A(古文)		2		
古典精読1B(漢文)		2		
古典精読2B(漢文)		2		
翻訳実習1		1		
翻訳実習2		1		
日本文化研究		2		
比較文化研究		2		
日本文学入門		2		
日本文学の歴史1		2		
日本文学の歴史2		2		
近代文学		2		
和歌文学		2		
平安文化論		2		
江戸文化論		2		
伝統芸能の歴史		2		
日本語学		2		
日本語文法1		2		
日本語文法2		2		
日本語表現法		2		
日本語の歴史		2		
漢文学1		2		
漢文学2		2		
書誌学		2		
書道1		2		
書道2		2		
歴史文化論		2		
日本人の信仰		2		
日記・記録の中の日本		2		
古文書学		2		

日本・東洋美術史1		2		
日本・東洋美術史2		2		
文化交流論		2		
観光文化論		2		
翻訳基礎1		2		
翻訳基礎2		2		
翻訳論		2		
対照言語論		2		
日本語教育		2		
西洋美術史1		2		
西洋美術史2		2		
シナリオ研究		2		
メディア文化論		2		
編集工学		2		
デジタル編集論		2		
DTP編集		2		
卒業演習1	1			
卒業演習2	1			
卒業研究	8			
計	32	98		

別表第5—5 学科科目及び単位数（福祉実践学科）

授業科目の名称	単位数または時間数			備 考
	必修	選択	自由	
自立と体験2	2			
現代社会と福祉Ⅰ	2			◆☆
現代社会と福祉Ⅱ		2		◆☆
心理学		2		*
社会学原論		2		*
福祉機器工学		2		
地域福祉論Ⅰ		2		◆☆
地域福祉論Ⅱ		2		◆☆
保健医療サービス論		2		◆☆
就労支援と権利擁護		2		◆☆
貧困論		2		◆☆
人体機能と疾病		2		*
障害学Ⅰ		2		
ケアと臨床の社会学		2		
子育て支援論		2		
福祉情報工学		2		
実践手話		2		
福祉英語Ⅰ		2		
福祉英語Ⅱ		2		
現代の社会保障Ⅰ		2		◆☆
現代の社会保障Ⅱ		2		◆☆
福祉行財政論		2		◆☆
マイノリティ論		2		
社会福祉発達史		2		隔年開講
医療ソーシャルワーク論		2		
社会福祉学特講Ⅰ(福祉住環境論)		2		
社会福祉学特講Ⅲ(海外福祉事情)		2		隔年開講
スクールソーシャルワーク論		2		
ソーシャルワーク演習・実習指導		2		

ソーシャルワーク実習		4		
福祉専門職論Ⅰ	2		◆	
相談援助論ⅠA	2		◆☆	
相談援助論ⅠB	2		◆☆	
子ども福祉論		2	◆	
高齢者福祉論Ⅰ		2	◆	
相談援助論演習Ⅰ	1		◆	
相談援助論演習Ⅱ	1		◆	
相談援助論演習Ⅲ	1		◆	
相談援助論演習Ⅳ	1		◆	
相談援助論演習Ⅴ	1		◆	
高齢者福祉論Ⅱ		2	◆	
相談援助実習指導Ⅰ		2	◆	
障害者スポーツ論		2		
相談援助論ⅡA		2	◆	
相談援助論ⅡB		2	◆	
社会調査		2	◆	
福祉経営論		2	◆	
障害学Ⅱ		2	◆☆	
相談援助実習指導Ⅱ		2	◆	
相談援助実習指導Ⅲ		2	◆	
相談援助実習		4	◆	
福祉専門職論Ⅱ		2	◆	
精神保健福祉論Ⅰ		2	☆	
精神医学Ⅰ		2	☆	
精神医学Ⅱ		2	☆	
精神科リハビリテーション論Ⅰ		2	☆	
精神科リハビリテーション論Ⅱ		2	☆	
精神保健福祉論Ⅱ		2	☆	
精神保健福祉論Ⅲ		2	☆	
福祉インターンシップⅠ		2		
福祉インターンシップⅡ		2		
精神保健Ⅰ		2	☆	
精神保健Ⅱ		2	☆	
多文化ソーシャルワーク論		2		隔年開講
精神保健福祉援助各論Ⅰ		2	☆	
精神保健福祉援助各論Ⅱ		2	☆	
精神保健福祉援助演習Ⅰ		1	☆	
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		2	☆	
精神保健福祉援助演習Ⅱ		1	☆	
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		2	☆	
精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		2	☆	
精神保健福祉援助実習		4	☆	
精神保健福祉援助演習Ⅲ		1	☆	
専門演習ⅠA	1			
専門演習ⅠB	1			
専門演習ⅡA	1			
専門演習ⅡB	1			
卒業研究	8			
計	27	129		

<注>

- ◆印の科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。
- ☆印の科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。このうち、演習・実習関連科目の履修は、精神保健福祉士コースに所属している学生、及び社会福祉士コースの相

談援助演習・実習関連科目を修了後さらに精神保健福祉士国家試験受験資格取得を希望する学生のみにも許可される。演習・実習指導に関する科目は各30時間、実習に関する科目は210時間とする。

3. \*印の科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得、または精神保健福祉士国家試験受験資格取得のいずれの場合であっても、3科目中1科目を選択する必要がある。

#### 備考

##### 人文学部について

1. 学部共通科目は、30単位を上限として卒業要件に算入できる。
2. 全学共通教職・資格科目の内、「教職に関する科目」の単位を修得した場合は、8単位まで全学共通科目の選択科目に充てることができる。
3. 全学共通教職・資格科目の内、「教科に関する科目」の単位を修得した場合は、26単位まで学部共通科目・学科科目の選択科目に充てることができる。
4. 前項2の「教職に関する科目」および前項3の「教科に関する科目」の単位については、学則第29条第1項に基づき他学部で履修し修得した「教職に関する科目」および「教科に関する科目」の単位をそれぞれ充てることもできる。
5. 学則第28条に規定する人文学部の進級基準について、2年生から3年生への進級は、2年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち53単位を修得しなければならない。また3年生から4年生への進級は3年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち88単位を修得しなければならない。
6. 前項5の進級基準において、国際コミュニケーション学科では「自立と体験2」2単位及び「基礎研究」2単位の計4単位を含めて53単位を修得しなければ3年生への進級はできない。また、88単位を修得しなければ4年生への進級はできない。
7. 前項5の進級基準において、日本文化学科では「自立と体験2」2単位を含めて53単位を修得しなければ3年生への進級はできない。また、88単位を修得しなければ4年生への進級はできない。
8. 前項5の進級基準において、人間社会学科では「社会学への招待A」2単位、「社会学への招待B」2単位、「社会学研究1A」2単位及び「社会学研究1B」2単位の計8単位を含めて53単位を修得しなければ3年生への進級はできない。また、「社会学研究2A」2単位及び「社会学研究2B」2単位の計4単位を含めて88単位を修得しなければ4年生への進級はできない。
9. 前項5の進級基準において、福祉実践学科では「自立と体験2」2単位、「現代社会と福祉Ⅰ」2単位及び「福祉専門職論Ⅰ」2単位の計7単位を含めて53単位を修得しなければ3年生への進級はできない。また、「専門演習ⅠA」1単位及び「専門演習ⅠB」1単位の計2単位を含めて88単位を修得しなければ4年生への進級はできない。

別表第6 学科科目及び単位数（経済学部経済学科）

授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由	
経済学入門1	2			} ※1 4単位以上修得すること
経済学入門2	2			
基礎演習1a	1			
基礎演習1b	1			
自立と体験2	2			
専門演習1a	1			
専門演習1b	1			
専門演習2a	1			
専門演習2b	1			
卒業研究	8			
経済史入門1		2		
経済史入門2		2		
経済事情1		2		
経済事情2		2		
世界経済入門1		2		
世界経済入門2		2		
統計学入門1		2		
統計学入門2		2		
簿記入門1		2		
簿記入門2		2		
憲法1		2		
憲法2		2		
経営学入門1		2		
経営学入門2		2		
日本経済入門		2		
日本経済論		2		
商学入門1		2		
商学入門2		2		
経済特講1		2		
民法1		2		
民法2		2		
行政法1		2		
行政法2		2		
国際法1		2		
国際法2		2		
租税法1		2		
租税法2		2		
会社法1		2		
会社法2		2		
ミクロ経済学1		2		
ミクロ経済学2		2		
マクロ経済学1		2		
マクロ経済学2		2		
経済政策1		2		
経済政策2		2		
日本経済史1		2		
日本経済史2		2		
労働経済学1		2		
労働経済学2		2		
社会政策1		2		

社会政策2	2			
地方財政論1	2			
地方財政論2	2			
計量経済学1	2			
計量経済学2	2			
国際金融論1	2			
国際金融論2	2			
流通経済論1	2			
流通経済論2	2			
地域経済論1	2			
地域経済論2	2			
環境経済学1	2			
環境経済学2	2			
アジア経済論1	2			
アジア経済論2	2			
開発経済学1	2			
開発経済学2	2			
国際会計論1	2			
国際会計論2	2			
中小商業論1	2			
中小商業論2	2			
西洋経済史1	2			
西洋経済史2	2			
財政学1	2			
財政学2	2			
国際経済学1	2			
国際経済学2	2			
金融論1	2			
金融論2	2			
公共経済学1	2			
公共経済学2	2			
産業組織の経済学1	2			
産業組織の経済学2	2			
財務会計論1	2			
財務会計論2	2			
実践情報処理1	2			
実践情報処理2	2			
経済学史1	2			
経済学史2	2			
マーケティング1	2			
マーケティング2	2			
ワークショップ	2			
企業経済学1	2			
企業経済学2	2			
工業簿記1	2			
工業簿記2	2			
都市経済学1	2			
都市経済学2	2			
エネルギー資源論	2			
食糧資源論	2			
ファイナンス1	2			
ファイナンス2	2			
金融システム論1	2			
金融システム論2	2			

経済特講2		2		※2 2単位以上修得 すること
経済特講3		2		
経済特講4		2		
経済特講5		2		
インターンシップ		4		
キャリア特講1		4		
キャリア特講2		4		
キャリア特講3		4		
キャリア特講4		4		
キャリア特講5		4		
キャリア特講6		4		
キャリア講義1		2		
キャリア講義2		2		
キャリア講義3		2		
計	20	230		

<注>

※1印の科目は、選択必修科目とし、その履修方法は別に定める。

※2印の科目は、キャリア選択科目とし、その履修方法は別に定める。

備考

経済学部について

1. 全学共通教職・資格科目の内、「教職に関する科目」の単位を修得した場合は、9単位まで全学共通科目の選択科目に充てることができる。
2. 全学共通教職・資格科目の内、「教科に関する科目」の単位を修得した場合は、8単位まで学科科目の選択科目に充てることができる。
3. 全学共通社会的・職業的自立促進科目の内、「自立と体験3」又は「自立と体験4」の単位を修得した場合は、4単位まで学科科目のキャリア選択科目にあてることができる。
4. 他学部開講の開放科目の単位を修得した場合は、8単位まで学科科目の選択科目に充てることができる。
5. 学則第28条に規定する経済学部の進級基準について、2年生から3年生への進級は2年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち44単位を修得しなければならない。また3年生から4年生への進級は3年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち88単位を修得しなければならない。



別表第7 学科科目及び単位数 (情報学部情報学科)

授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由	
基礎ゼミナール	2			
基礎解析 I	2			
基礎解析 II	2			
情報学基礎	2			
現代社会と科学技術	2			
コンピュータシステム入門	2			
コンピュータ処理 I	2			
プログラミング序論	4			
プログラミング I	4			
プログラミング II	4			
コンピュータ処理 II	2			
情報学実験基礎	4			
自立と体験2	2			
情報学実験 I	3			
情報学実験 II	3			
論文輪講	2			
卒業研究	8			
解析学 I		2		
解析学 II		2		
統計情報数学		2		
論理回路		2		
組込みシステム基礎		2		
コンピュータアーキテクチャ I		2		
コンピュータアーキテクチャ II		2		
ネットワークアーキテクチャ		2		
離散数学 I		2		
離散数学 II		2		
技術英語 I		2		
技術英語 II		2		
数値計算法		4		
データベース工学		2		
コンピュータネットワーク		2		
計画数学		2		
インテリジェントシステム		2		
マルチメディア工学		2		
言語理論とオートマトン		2		
アルゴリズムとデータ構造 II		2		
プログラミング III		2		
ネットワークコンピューティング		2		
情報技術		2		
アルゴリズムとデータ構造 I		2		
企業実習		2		
知的所有権		2		
コンピュータセキュリティ		2		
自然言語処理		2		
オペレーティングシステム		2		
情報通信工学		2		
情報学基礎演習		2		
ソフトウェア技術実習 I		1		
連続信号処理		2		

デジタル信号処理		2		
ロボティクス		2		
確率過程		2		
ネットワーク通信プログラミング		2		
ソフトウェア技術実習Ⅱ		1		
ソフトウェア技術実習Ⅲ		2		
画像処理		2		
ネットワークセキュリティ		2		
ネットワーク管理		2		
コンピュータグラフィックス		2		
情報倫理		2		
インターフェース設計		2		
コンピュータハードウェア		2		
Webプログラミング		2		
インタラクティブプログラミング		2		
イメージングソフトウェアⅠ		2		
イメージングソフトウェアⅡ		2		
リアルタイムプログラミング		2		
ソフトウェア工学		2		
イメージングソフトウェア基礎		2		
計	50	106		

備考

情報学部について

1. 全学共通教職・資格科目の内、「教職に関する科目」の単位を修得した場合は、4単位まで全学共通科目の選択科目に充てることができる。
2. 全学共通教職・資格科目の内、「教科に関する科目」の単位を修得した場合は、4単位まで学科科目の選択科目に充てることができる。
3. 学則第28条に規定する情報学部の進級基準について、1年生から2年生への進級は1年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち「情報学基礎」2単位を含めて20単位を修得しなければならない。2年生から3年生への進級は2年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち1年生又は2年生配当の学科必修科目18単位を含む50単位を修得しなければならない。また、3年生から4年生への進級は3年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち1年生及び2年生配当の学科必修科目34単位を含む93単位を修得しなければならない。

別表第8 学科科目及び単位数（教育学部教育学科）

授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由	
学科共通科目				
教育学入門	2			
教育原理	2			
教育の制度と経営	2			
教職入門	2			
自立と体験2	2			
教育学基礎演習1	1			
教育学基礎演習2	1			
教育インターンシップ1	1			
教育インターンシップ2	1			
教育心理学	2			
教育実践ゼミ1	1			
教育実践ゼミ2	1			
教育実践ゼミ3	1			
卒業研究	8			
教職実践演習(教諭)		2		
人材教育研究		2		
教育哲学		2		
教育社会学		2		
比較教育制度		2		
環境教育論		2		
健康と食育		2		
臨床心理学		2		
人材教育論		2		
企業内教育論		2		
障害者教育総論		2		
発達障害論		2		
障害児教育概論1		2		
障害児教育概論2		2		
音楽療法		1		
表現療法		1		
発達指導支援法1		1		
発達指導支援法2		1		
教育インターンシップ3		1		
教育インターンシップ4		1		
教育インターンシップ5		1		
教育インターンシップ6		1		
教育の歴史と思想		2		
教育の最新事情		2		
教育法規1		2		
教育法規2		2		
教育行財政1		2		
教育行財政2		2		
情報教育1		2		
情報教育2		2		
授業研究1		2		
授業研究2		2		
外国語活動指導法研究1		2		
外国語活動指導法研究2		2		
学科科目				
国語(書写を含む。)		2		
社会		2		
算数		2		

理科	2		
生活科	2		
音楽	2		
音楽実技1	1		
音楽実技2	1		
図画工作	2		
家庭科	2		
体育	2		
児童心理学	2		
保育学1	2		
保育学2	2		
初等教育課程論	2		
初等国語科教育法(書写を含む。)	2		
初等社会科教育法	2		
初等算数科教育法	2		
初等理科教育法	2		
初等生活科教育法	2		
初等音楽科教育法	2		
初等図画工作科教育法	2		
初等家庭科教育法	2		
初等体育科教育法	2		
道德教育の指導法(小学校)	2		
特別活動の指導法(小学校)	2		
初等教育方法学	2		
児童・進路指導論	2		
初等教育相談の基礎と方法	2		
幼児理解の理論と方法	2		
保育内容総論	2		
保育内容A・健康	2		
保育内容B・人間関係	2		
保育内容C・環境	2		
保育内容D・言葉	2		
保育内容E・表現1	2		
保育内容F・表現2	2		
初等教育実習指導	1		
初等教育実習	4		
特別教育実習	4		
中等教育課程論	2		
道德教育の指導法(中学校)	2		
特別活動の指導法(中高)	2		
中等教育方法学	2		
生徒・進路指導論	2		
中等教育相談の基礎と方法	1		
中等教育実習指導	2		
中等教育実習A	2		
中等教育実習B	2		
国語学概論	2		
日本文法1	2		
日本文法2	2		
日本語表現法	2		
国文学	2		
国文学史	2		
日本文学概論	2		
古典文学	2		
近代文学	2		
漢文学	2		
書道1	2		

書道2	2		
国語科教育法1	2		
国語科教育法2	2		
国語科教育法3	2		
国語科教育法4	2		
初等国語指導法研究1	2		
初等国語指導法研究2	2		
日本史概説	2		
日本史各論1	2		
日本史各論2	2		
外国史概説	2		
外国史各論1(東洋史)	2		
外国史各論2(西洋史)	2		
人文地理学	2		
自然地理学	2		
地理学入門(地誌を含む。)	2		
地誌学概説	2		
法律学概論1(国際法を含む。)	2		
法律学概論2(国際法を含む。)	2		
政治学概論1(国際政治を含む。)	2		
政治学概論2(国際政治を含む。)	2		
社会学概論	2		
経済学概論1(国際経済を含む。)	2		
経済学概論2(国際経済を含む。)	2		
哲学概論	2		
倫理学概論	2		
宗教学概論	2		
心理学概論	2		
社会・地理歴史科教育法1	2		
社会・地理歴史科教育法2	2		
社会・公民科教育法1	2		
社会・公民科教育法2	2		
初等社会指導法研究1	2		
初等社会指導法研究2	2		
代数学1	2		
代数学2	2		
幾何学1	2		
幾何学2	2		
解析学1	2		
解析学2	2		
確率論	2		
統計学	2		
コンピュータ演習1	1		
コンピュータ演習2	1		
コンピュータ演習3	1		
コンピュータ演習4	1		
数学科教育法1	2		
数学科教育法2	2		
数学科教育法3	2		
数学科教育法4	2		
初等算数指導法研究1	2		
初等算数指導法研究2	2		
物理学概論1	2		
物理学概論2	2		
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1		
化学概論1	2		
化学概論2	2		

化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1		
生物学概論1	2		
生物学概論2	2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1		
地学概論1	2		
地学概論2	2		
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1		
理科教育法1	2		
理科教育法2	2		
理科教育法3	2		
理科教育法4	2		
初等理科指導法研究1	2		
初等理科指導法研究2	2		
ソルフェージュ1	1		
ソルフェージュ2	1		
声楽・歌唱1	1		
声楽・歌唱2	1		
声楽・歌唱3	1		
器楽1	1		
器楽2	1		
器楽3	1		
器楽4(和楽器)	1		
指揮法	2		
音楽理論1	2		
音楽理論2(楽典)	2		
音楽理論3(音楽史)	2		
作曲・編曲法1(基礎)	2		
作曲・編曲法2(応用)	1		
音楽科教育法1	2		
音楽科教育法2	2		
音楽科教育法3	2		
音楽科教育法4	2		
初等音楽指導法研究1	2		
初等音楽指導法研究2	2		
デッサン1	1		
デッサン2	1		
絵画1	1		
絵画2	1		
映像メディア表現1	1		
映像メディア表現2	1		
彫塑1	1		
彫塑2	1		
デザインA	1		
デザインB	1		
平面構成基礎	1		
立体構成基礎	1		
映像メディア表現3	1		
映像メディア表現4	1		
工芸基礎A	1		
工芸基礎B	1		
工芸A	1		
工芸B	1		
教職美術入門(鑑賞)	2		
美術理論1	2		
美術理論2	2		
美術史概論	2		
日本・東洋美術史	2		

美術科教育法1	2		
美術科教育法2	2		
美術科教育法3	2		
美術科教育法4	2		
初等図画工作指導法研究1	2		
初等図画工作指導法研究2	2		
教職体育実技1	1		
教職体育実技2	1		
教職体育実技3	1		
教職体育実技4	1		
体育原理	2		
体育経営管理学	2		
体育社会学	2		
体育心理学	2		
運動学(運動方法学を含む。)	2		
スポーツコーチング論	2		
バイオメカニクス	2		
スポーツトレーニング論	2		
生理学(運動生理学を含む。)	2		
運動生理学演習	1		
衛生学(公衆衛生を含む。)	2		
スポーツ医学	2		
学校保健A(学校安全・救急措置を含む。)	2		
学校保健B(小児保健・精神保健を含む。)	2		
発育発達論	2		
保健体育科教育法1	2		
保健体育科教育法2	2		
保健体育科教育法3	2		
保健体育科教育法4	2		
初等体育指導法研究1	2		
初等体育指導法研究2	2		
英語学概論	2		
英文法	2		
英米文学1	2		
英米文学2	2		
英語コミュニケーション1	2		
英語コミュニケーション2	2		
英語コミュニケーション3	2		
英語コミュニケーション4	2		
異文化理解1	2		
異文化理解2	2		
英語科教育法1	2		
英語科教育法2	2		
英語科教育法3	2		
英語科教育法4	2		
知的障害者の心理	2		
知的障害者の生理・病理	2		
肢体不自由者の心理・生理・病理	2		
病弱者の心理・生理・病理	2		
特別支援学校教育課程論	2		
知的障害者の指導法1	2		
知的障害者の指導法2	2		
肢体不自由者の指導法	2		
病弱者の指導法	2		
特別支援教育実習	3		
社会福祉論	2		
子ども福祉論	2		

保育者論		2		
保育課程論		2		
幼児教育思想史		2		
放課後子ども支援論		2		
発達心理学		2		
子育て支援論		2		
子どもと保育者のメンタルヘルス		2		
保育の最新事情		2		
子どもの発達臨床		2		
乳児保育1		1		
乳児保育2		1		
障害児保育		2		
乳児保育実践論		2		
子どもと文化		2		
子どもと環境		2		
子どもと遊び		2		
子どものケアと社会		2		
子どもと表現		2		
幼児の体育		2		
幼児の音楽		2		
幼児の造形		2		
保育所実習2		2		
施設実習2		2		
相談援助		2		
社会的養護		2		
子どもの保健1		2		
子どもの保健2		2		
子どもの保健（演習）		1		
子どもの食と栄養		2		
社会的養護内容		2		
保育相談支援		2		
保育所実習1		2		
施設実習1		2		
保育所実習指導1		1		
施設実習指導1		1		
保育所実習指導2		1		
施設実習指導2		1		
視覚障害者の心理・生理・病理		1		
聴覚障害者の心理・生理・病理		1		
重複障害・LD等の心理・生理・病理		2		
視覚障害者の指導法		1		
聴覚障害者の指導法		1		
重複障害・LD等教育の理論と実際		2		
計	27	557		



別表第9 学科科目及び単位数（経営学部経営学科）

授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由	
自立と体験2	2			
経営学概論	2			
簿記論	2			
マーケティング論基礎	2			
会計学概論	2			
経営基礎1	2			
経営基礎2	2			
経営基礎3	2			
経営基礎4	2			
ゼミナール1	1			
ゼミナール2	1			
ゼミナール3	1			
ゼミナール4	1			
卒業研究	8			
企業論		2		
経営戦略論基礎		2		
経営戦略論応用		2		
マーケティング論応用		2		
起業実務		2		
地域経済論		2		
企業家論		2		
中小企業戦略論		2		
経営組織論		2		
人的資源管理論		2		
経営戦略ケーススタディ		2		
ビジネスゲーム		2		
国際経営論		2		
リーダーシップ開発		2		
起業マネジメント論		2		
ビジネスプランニング		2		
アントレプレナーシップ論		2		
現代の経営戦略と組織		2		
中小企業経営論		2		
イノベーション実践論		2		
流通論基礎		2		
流通論応用		2		
流通論ケーススタディ		2		
マーケティング・ケーススタディ		2		
観光学概論		2		
観光ビジネス論		2		
観光ビジネス実務		2		
観光マーケティング論		2		
組織心理学		2		
ホスピタリティ・マネジメント論		2		
サービスマネジメント論		2		
スポーツ・エンターテイメントビジネス論		2		
消費者行動論		2		
マーケティングリサーチ		2		
インターネット・マーケティング		2		
コミュニケーション論		2		

サプライチェーンマネジメント		2		
簿記特講		2		
上級簿記		2		
工業簿記		2		
基礎財務会計		2		
上級財務会計		2		
業績評価会計		2		
意思決定会計		2		
原価計算論		2		
ビジネスアカウンティング		2		
財務諸表分析		2		
ファイナンス		2		
コンピュータ会計		2		
事業承継・起業と会計		2		
キャリア開発1		2		
キャリア開発2		2		
キャリア開発3		2		
キャリア開発4		2		
ビジネスモデル構築		2		
ファミリービジネス論		2		
ブライダル・マーケティング論		2		
ホスピタリティ・マネジメント実践論		2		
地域ブランド論		2		
金融論		2		
監査論		2		
プロジェクトマネジメント論		2		
IOTマーケティング		2		
租税法		2		
証券市場論		2		
計	30	130		

備考

経営学部について

1. 学則第28条に規定する経営学部の進級基準について、2年生から3年生への進級は2年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち44単位を修得しなければならない。また3年生から4年生への進級は3年以上在学し、学則第33条第1項に規定する単位数のうち88単位を修得しなければならない。

別表第10 学科科目及び単位数 (デザイン学部デザイン学科)

授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由	
デザイン概論	2			※1 10 単位以上 修得すること
色彩学		2		
デザイン史		2		
美術史概論		2		
デザイン図学		2		
デザインと人		2		
視覚メディア論		2		
材料学		2		
デザインと文化		2		
日本・東洋美術史		2		
マンガ・アニメーション史		2		
デザインとテクノロジー		2		
論考と構成		2		
コンピュータ表現基礎実習1	1			※1 6 単位以上 修得すること
コンピュータ表現基礎実習2	1			
表現基礎実習A (平面構成)		1		
表現基礎実習B (立体構成)		1		
表現基礎実習C (イメージ描画)		1		
表現基礎実習D (デッサン)		1		
表現基礎実習E (レンダリング・モデリング)		1		
表現基礎実習F (印刷技法)		1		
表現基礎実習G (彫塑)		1		
コンピュータ表現応用実習		1		
材料加工実習A (紙・布・木)		1		
材料加工実習B (金属・樹脂・新素材)		1		
材料加工実習C (土・ガラス)		1		
デザイン製図実習		1		
デジタル工作実習		1		
メディア表現実習		1		
シナリオ制作実習		1		
サウンドデザイン実習		1		
クラフトデザインA		2		
クラフトデザインB		2		
企画表現演習1	2			
企画表現演習2	2			
企画表現演習3	2			
企画表現演習4	4			
企画表現演習5	4			
企画表現演習6	4			
企画表現演習7	4			
視覚デザイン基礎演習		2		※1 14 単位以上 修得すること
グラフィックデザインA		4		
グラフィックデザインB		4		
グラフィックデザインC		4		
マンガデザインA		4		
マンガデザインB		4		
マンガデザインC		4		
メディアデザインA		4		
メディアデザインB		4		

メディアデザインC		4	※1 14 単位以上 修得すること
視覚デザインコラボレーション		2	
生活デザイン基礎演習		2	
プロダクトデザインA		4	
プロダクトデザインB		4	
プロダクトデザインC		4	
インテリアデザインA		4	
インテリアデザインB		4	
インテリアデザインC		4	
ファッションデザインA		4	
ファッションデザインB		4	
ファッションデザインC		4	
生活デザインコラボレーション		2	
自立と体験2	2		
デザインキャリア特別講義		2	※1 6 単位以上 修得すること
インターンシップ		2	
ポップカルチャービジネス論		2	
照明演出論		2	
インタラクティブデザイン論		2	
インターネットビジネス論		2	
ブランディング論		2	
ソーシャルデザイン論		2	
デザインマネジメント論		2	
デザインと法		2	
卒業研究	8		
計	36	144	

<注>

- ※1印の科目は、選択必修科目とし、その履修方法は別に定める。
- 全学共通社会的・職業的自立促進科目の内、「キャリアデザイン2」の2単位を学科科目の選択科目に充てることができる。

別表第 1 1 学科科目及び単位数（心理学部心理学科）

授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由	
基礎科目				
自立と体験 2	2			
心理学概論 A	2			
心理学概論 B	2			
心理学統計法 1	2			
心理学統計法 2	2			
心理学研究法	2			
心理学実験	2			
心理学実験実習	2			
心理的アセスメント	2			
心理的アセスメント実習	2			
基幹科目				20単位以上
比較心理学		2		
産業・組織心理学		2		
児童心理学		2		
障害者・障害児心理学		2		
健康・医療心理学		2		
感情・人格心理学		2		
知覚・認知心理学		2		
学習・言語心理学		2		
神経・生理心理学		2		
社会・集団・家族心理学		2		
青年心理学		2		
発達心理学		2		
発達臨床心理学		2		
福祉心理学		2		
教育・学校心理学		2		
発展科目				
聴知覚心理学		2		
運動視知覚心理学		2		
実験的行動分析学		2		
比較認知科学		2		
認知神経心理学		2		
臨床神経心理学		2		
社会的認知論		2		
社会行動論		2		
消費者行動論		2		
心理学調査法		2		
人間関係発達論		2		
カウンセリング技法論		2		
カウンセリング実践論		2		
認知行動療法技法論		2		
認知行動療法実践論		2		
司法・犯罪心理学		2		
性格心理学実践論		2		
心理学的支援法		2		
こども心理療法論		2		
応用行動分析学		2		
社会環境行動論		2		
発達障害児教育論		2		
発達障害者自立支援論		2		

臨床実践科目				
心理演習		2		
臨床心理学概論		2		
精神疾患とその治療		2		
公認心理師の職責		2		
関係行政論		2		
人体の構造と機能及び疾病		2		
心理実習		2		
キャリア形成科目				
心理学で拓くキャリア		2		
研究実践科目				
専門演習 1 A	1			
専門演習 1 B	1			
専門演習 2 A	1			
専門演習 2 B	1			
卒業研究	8			
計	32	92		

<注>

※全学共通社会的・職業的自立促進科目の単位を修得した場合は、6単位まで学科科目の選択科目に充てることができる。ただし、キャリア形成科目の「心理学で拓くキャリア」2単位を修得した場合には、4単位までとする。

別表第 1 2 学士の学位

学 部	学 科	学士の学位
理工学部	総合理工学科	学士(理学) 学士(工学)
人文学部	国際コミュニケーション学科 人間社会学科 日本文化学科 福祉実践学科	学士(国際コミュニケーション学) 学士(社会学) 学士(文学) 学士(社会福祉学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
情報学部	情報学科	学士(情報)
教育学部	教育学科	学士(教育学)
経営学部	経営学科	学士(経営学)
デザイン学部	デザイン学科	学士(デザイン学)
心理学部	心理学科	学士(心理学)

別表第 13—1 教育職員免許状の種類

学 部	学 科	免許教科	免許状の種類	
理工学部	総合理工学科	数学	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		理科	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		工業	高等学校教諭一種免許状	
		人文学部	国際コミュニケーション学科	英語
高等学校教諭一種免許状				
人間社会学科	社会			中学校教諭一種免許状
	地理歴史		高等学校教諭一種免許状	
	公民		高等学校教諭一種免許状	
日本文化学科	国語		中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
経済学部	経済学科		社会	中学校教諭一種免許状
			地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状	
情報学部	情報学科	数学	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		情報	高等学校教諭一種免許状	
教育学部	教育学科		幼稚園教諭一種免許状	
			小学校教諭一種免許状	
		国語	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		数学	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		社会	中学校教諭一種免許状	
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状	
		公民	高等学校教諭一種免許状	
		理科	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		英語	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		音楽	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		保健体育	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
		美術	中学校教諭一種免許状	
			高等学校教諭一種免許状	
			特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者) (肢体不自由者) (病弱者)	



別表第13—2 全学共通教職・資格科目及び単位数（教職課程）

(1) 教科に関する科目

数学（中学校一種、高等学校一種）総合理工学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
代数学	基礎数学1	2	2	
	基礎数学2		2	
	基礎代数学Ⅰ		2	
	基礎代数学Ⅱ			
	離散代数			
幾何学	幾何学Ⅰ	2	2	
	幾何学Ⅱ			
解析学	基礎解析学Ⅰ	2	2	
	基礎解析学Ⅱ			
	応用解析Ⅱ			
「確率論、統計学」	統計学1	2	2	
	統計学2			
	確率科学			
	統計科学			
コンピュータ	情報リテラシーa	2	2	
	情報リテラシーb	2		
	情報処理Ⅰ	2		
	情報処理Ⅱ	2		
	プログラミング基礎	2		
	プログラミング応用	2		
	コンピュータ入門	2		
	データ処理論	2		
計		12	32	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

理科（中学校一種）総合理工学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
物理学	物理学1	2	2	
	物理学2			
	物理演習			
	基礎現代物理			
	基礎力学Ⅰ			
	基礎力学Ⅱ			
	量子力学Ⅰ			
	量子力学Ⅱ			
	量子力学Ⅲ			
	振動と波動			
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1		コンピュータ活用を含む
化学	化学1	2	2	
	化学2			
	化学演習			
	基礎物理化学			
	基礎無機化学			

	基礎分析化学 基礎有機化学 生化学 I 基礎環境化学 応用環境化学 環境分析化学		2 2 2 2 2 2	
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学・生命科学実験 I 環境化学実験 化学・生命科学実験 II 環境機器分析実験		1 3 2 3 2	コンピュータ活用を含む※ コンピュータ活用を含む※ コンピュータ活用を含む※ コンピュータ活用を含む コンピュータ活用を含む ※:これら3科目より1科目選択必修
生物学	生物学1 生物学2 細胞生物学 分子生物学 I 環境微生物学 環境微生物実験 基礎生態学	2	2 2 2 2 2 2	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1		コンピュータ活用を含む
地学	地学概論1 地学概論2 天文学 I 天文学 II 天体観測 宇宙論 気象・熱環境学	2	2 2 2 2 2 2	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1		コンピュータ活用を含む
計		11	71	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

理科(高等学校一種) 総合理工学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
物理学	物理学1 物理学2 物理演習 基礎現代物理 基礎力学 I 基礎力学 II 量子力学 I 量子力学 II 量子力学 III	2	2 1 2 2 2 2 2 2	

	振動と波動		2	
化学	化学1 化学2 化学演習 基礎物理化学 基礎無機化学 基礎分析化学 基礎有機化学 生化学 I 基礎環境化学 応用環境化学 環境分析化学	2	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	
生物学	生物学1 生物学2 細胞生物学 分子生物学 I 環境微生物学 環境微生物実験 基礎生態学	2	2 2 2 2 2 2	
地学	地学概論1 地学概論2 天文学 I 天文学 II 天体観測 宇宙論 気象・熱環境学	2	2 2 2 2 2 2	
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学・生命科学実験 I 環境化学実験 化学・生命科学実験 II 環境機器分析実験 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 地学実験(コンピュータ活用を含む。)		1 1 3 2 3 2 1 1	コンピュータ活用を含む※ コンピュータ活用を含む※ コンピュータ活用を含む※ コンピュータ活用を含む※ コンピュータ活用を含む コンピュータ活用を含む コンピュータ活用を含む※ コンピュータ活用を含む※ ※: これら6科目より1科目選択必修
計		8	74	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

工業（高等学校一種）総合理工学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
工業の関係科目	技術者の生き方と安全管理	2		
	基礎電磁気学Ⅰ		2	
	基礎電磁気学Ⅱ		2	
	解析力学Ⅰ		2	
	解析力学Ⅱ		2	
	電磁気学Ⅰ		2	
	電磁気学Ⅱ		2	
	放射線物理学		2	
	統計熱力学Ⅰ		2	
	統計熱力学Ⅱ		2	
	原子核物理学		2	
	光学		2	
	量子エレクトロニクス		2	
	応用物性		2	
	ナノ・バイオテクノロジー		2	
	無機化学Ⅱ		2	
	応用無機化学		2	
	錯体化学		2	
	無機材料化学		2	
	有機化学Ⅰ		2	
	無機化学Ⅰ		2	
	物理化学Ⅰ		2	
	物理化学Ⅱ		2	
	物理化学Ⅲ		2	
	量子電算機化学		2	
	応用物理化学		2	
	有機化学Ⅱ		2	
	有機化学Ⅲ		2	
	有機物性化学		2	
	有機機能化学		2	
	生化学Ⅱ		2	
	機器分析学		2	
	分子生物学Ⅱ		2	
	構造生物学		2	
	生命工学		2	
	化学・生命科学実験Ⅲ		3	
	化学・生命科学実験Ⅳ		3	
	化学・生命科学特別演習Ⅰ		1	
	ものづくりⅠ		2	
	ものづくりⅡ		2	
	機械工学系基礎実験Ⅰ		2	
	機械工学系基礎実験Ⅱ		2	
	熱力学Ⅰ		2	
熱力学Ⅱ	2			
材料の強さⅠ	2			
材料の強さⅡ	2			
流れ学Ⅰ	2			
流れ学Ⅱ	2			
機械力学Ⅰ	2			
機械力学Ⅱ	2			
機械製図	2			

機械加工学 I	2
機械加工学 II	2
3D-CAD	2
機械材料学 I	2
機械材料学 II	2
機械工学系実験 I	2
機械工学系実験 II	2
機械設計製図 I	2
機械設計製図 II	2
創造工作実習	1
応用材料力学 I	2
応用材料力学 II	2
伝熱学	2
エンジン工学	2
流体工学 I	2
流体工学 II	2
制御工学	2
ロボット工学	2
設計工学 I	2
設計工学 II	2
生産加工概論	2
電気電子工学入門	2
電気電子実験	2
電気回路学	3
基礎電磁気学	3
交流回路学	3
電磁気学	3
電子回路学	2
エネルギー工学	2
デジタル制御	2
電気・電子実習 I	1
情報通信実験	2
電力電子実習 I	1
情報通信実習 I	1
電力電子実験	2
回路解析学	2
応用電磁気学	2
電気電子計測	2
半導体工学	2
電気法規	2
電気電子製図	2
通信法規	2
電気材料工学	2
発電工学	2
電力電子工学	2
電力工学	2
電気機器学	2
高電圧工学	2
コンピュータ構成論	2
情報通信論	2
通信網論	2
信号解析学	2
電力電子実習 II	1
電気電子実習 II	1

情報通信実習Ⅱ	1
電気電子工学総論	2
意匠・デッサン実習	2
住宅論	2
建築基礎力学	2
建築材料実験	2
建築設計製図Ⅰ	2
建築設計製図Ⅱ	2
建築設計製図Ⅲ	2
建築設計製図Ⅳ	2
建築計画Ⅰ	2
建築計画Ⅱ	2
日本建築史	2
西洋建築史	2
建築環境学Ⅰ	2
建築環境学Ⅱ	2
建築設備Ⅰ	2
建築設備Ⅱ	2
建築構造力学	2
建築材料学	2
材料力学	2
建築構造実験	2
ランドスケープ	2
インテリアデザイン	2
人間工学とユニバーサルデザイン	2
都市計画	2
耐震工学	2
構造デザイン	2
安全防災	2
建築ライフサイクル	2
建築構造解析	2
建築施工管理	2
建築法規	2
建築構法	2
建築意匠	2
鉄筋コンクリート構造	2
建築鉄骨構造	2
地盤工学	2
測量学実習	2
基礎環境学Ⅰ	2
基礎環境学Ⅱ	2
都市環境計画	2
水・土壌環境学	2
廃棄物学	2
大気環境学	2
環境情報処理	2
地球環境学	2
都市環境保全	2
水・土壌汚染制御	2
環境アセスメント	2
環境政策論	2
環境流体解析	2
大気・熱汚染制御	2
都市環境計画演習	1

	都市管理論 環境バイオ・エコテクノロジー 水・土壌分析実験 環境衛生学 廃棄物管理 環境材料学		2 2 2 2 2 2	
職業指導	職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ	2	2	
計		4	327	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計59単位以上修得すること。

英語（中学校一種、高等学校一種）国際コミュニケーション学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
英語学	語学研究Ⅰa(英語)	2		
	語学研究Ⅰb(英語)	2		
	語学研究Ⅱa(英語)		2	
	語学研究Ⅱb(英語)		2	
	語学研究Ⅲa(英語)		2	
	語学研究Ⅳa		2	
英米文学	文化・文学論Ⅰa	2		
	文化・文学論Ⅰb	2		
	文化・文学論Ⅱa		2	
	文化・文学論Ⅱb		2	
英語コミュニケーション	コミュニケーション外国語Ⅰa	1		コミュニケーション外国語については(英語)を履修するものとする
	コミュニケーション外国語Ⅰb	1		
	コミュニケーション外国語Ⅰc	1		
	コミュニケーション外国語Ⅰd	1		
	コミュニケーション外国語Ⅰe	1		
	コミュニケーション外国語Ⅰf	1		
	コミュニケーション外国語Ⅱa		1	
	コミュニケーション外国語Ⅱb		1	
	コミュニケーション外国語Ⅱc		1	
	コミュニケーション外国語Ⅱd		1	
	コミュニケーション外国語Ⅱe		1	
	コミュニケーション外国語Ⅱf		1	
異文化理解	異文化理解論Ⅰa	2		
	異文化理解論Ⅰb	2		
	異文化理解論Ⅱa		2	
	異文化理解論Ⅱb		2	
	留学Ⅰ		2	
	フィールドワーク(理論)Ⅰ		2	
	フィールドワーク(理論)Ⅱ		2	
計		18	28	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

社会（中学校一種）人間社会学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
日本史及び外国史	日本史概説	2		
	外国史概説	2		
	日本史各論1		2	
	日本史各論2		2	
	外国史各論1(東洋史)		2	
	外国史各論2(西洋史)		2	
	情報社会論		2	
地理学(地誌を含む。)	人文地理学	2		
	自然地理学		2	
	地理学入門(地誌を含む。)	2		
	地誌学概説		2	
	地域社会学		2	
	コミュニティ形成論		2	
「法律学、政治学」	法律学概論1(国際法を含む。)	2		
	法律学概論2(国際法を含む。)		2	
	政治学概論1(国際政治を含む。)	2		
	政治学概論2(国際政治を含む。)		2	
「社会学、経済学」	社会学原論A	2		
	社会学原論B	2		
	経済学概論1(国際経済を含む。)	2		
	経済学概論2(国際経済を含む。)		2	
	教育社会学		2	
	ライフコース論		2	
	学校社会学		2	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2		
	倫理学概論		2	
	宗教学概論		2	
計		20	34	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

地理歴史（高等学校一種）人間社会学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
日本史	日本史概説	2		
	日本史各論1	2		
	日本史各論2	2		
外国史	外国史概説	2		
	外国史各論1(東洋史)	2		
	外国史各論2(西洋史)	2		
	情報社会論		2	
人文地理学及び 自然地理学	人文地理学	2		
	自然地理学	2		
	地理学入門(地誌を含む。)	2		
地誌	地誌学概説	2		
	地域社会学		2	
	コミュニティ形成論		2	
計		20	6	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。



公民（高等学校一種）人間社会学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法律学概論1 (国際法を含む。)	2		
	法律学概論2 (国際法を含む。)	2		
	政治学概論1 (国際政治を含む。)	2		
	政治学概論2 (国際政治を含む。)	2		
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	社会学原論A	2		
	社会学原論B	2		
	経済学概論1 (国際経済を含む。)	2		
	経済学概論2 (国際経済を含む。)	2		
	教育社会学	2		
	ライフコース論		2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	学校社会学		2	
	哲学概論	2		
	倫理学概論		2	
	宗教学概論		2	
計		20	8	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

国語（中学校一種）日本文化学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学	2		
	日本語文法1	2		
	日本語文法2	2		
	日本語表現法		2	
	日本語の歴史		2	
国文学 (国文学史を含む。)	日本文学の歴史1	2		
	日本文学の歴史2	2		
	日本文学入門	2		
	近代文学		2	
	平安文化論		2	
	和歌文学		2	
	江戸文化論		2	
	古典精読1A(古文)		2	
古典精読2A(古文)		2		
漢文学	漢文学1	2		
	漢文学2	2		
	古典精読1B(漢文)		2	
	古典精読2B(漢文)		2	
書道(書写を中心とする。)	書道1	2		
	書道2	2		
計		20	20	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

国語（高等学校）日本文化学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学	2		
	日本語文法1	2		
	日本語文法2	2		
	日本語表現法	2		
	日本語の歴史		2	
国文学 (国文学史を含む。)	日本文学の歴史1	2		
	日本文学の歴史2	2		
	日本文学入門	2		
	近代文学	2		
	平安文化論		2	
	和歌文学		2	
	江戸文化論		2	
	古典精読1A(古文)		2	
古典精読2A(古文)		2		
漢文学	漢文学1	2		
	漢文学2	2		
	古典精読1B(漢文)		2	
	古典精読2B(漢文)		2	
計		20	16	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

社会（中学校一種）経済学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
日本史及び外国史	日本史概説	2		
	外国史概説	2		
	日本史各論1		2	
	日本史各論2		2	
	外国史各論1(東洋史)		2	
	外国史各論2(西洋史)		2	
	西洋経済史1		2	
	西洋経済史2		2	
	日本経済史1		2	
	日本経済史2		2	
	経済学史1		2	
	経済学史2		2	
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学	2	
地理学入門（地誌を含む。）		2		
地域経済論1			2	
地域経済論2			2	
自然地理学			2	
地誌学概説		2		
「法律学、政治学」	法律学概論1（国際法を含む。）	2		
	政治学概論1（国際政治を含む。）	2		
	法律学概論2（国際法を含む。）		2	
	政治学概論2（国際政治を含む。）		2	
	憲法1		2	
	憲法2		2	

	民法1		2	
	民法2		2	
	国際法1		2	
	国際法2		2	
	行政法1		2	
	行政法2		2	
	会社法1		2	
	会社法2		2	
	社会政策1		2	
	社会政策2		2	
「社会学、経済学」	社会学概論	2		
	経済学概論1 (国際経済を含む。)	2		
	経済学概論2 (国際経済を含む。)		2	
	日本経済入門		2	
	日本経済論		2	
	経済事情1		2	
	経済事情2		2	
	経営学入門1		2	
	経営学入門2		2	
	国際経済学1		2	
	国際経済学2		2	
	金融論1		2	
	金融論2		2	
	財政学1		2	
	財政学2		2	
	地方財政論1		2	
	地方財政論2		2	
	環境経済学1		2	
	環境経済学2		2	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2		
	宗教学概論		2	
	倫理学概論		2	
計		18	94	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

地理歴史（高等学校一種）経済学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
日本史	日本史概説	2		
	日本史各論1	2		
	日本史各論2	2		
	日本経済史1		2	
	日本経済史2		2	
外国史	外国史概説	2		
	外国史各論1 (東洋史)	2		
	外国史各論2 (西洋史)	2		
	西洋経済史1		2	
	西洋経済史2		2	
人文地理学及び 自然地理学	人文地理学	2		
	自然地理学	2		
	地理学入門 (地誌を含む。)	2		
	地域経済論1		2	

	地域経済論2		2	
地誌	地誌学概説 世界経済入門1 世界経済入門2	2	2 2	
計		20	16	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

公民（高等学校一種）経済学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論1（国際法を含む。）	2		
	法学概論2（国際法を含む。）	2		
	政治学概論1（国際政治を含む。）	2		
	政治学概論2（国際政治を含む。）	2		
	憲法1		2	
	憲法2		2	
	民法1		2	
	民法2		2	
	国際法1		2	
	国際法2		2	
	行政法1		2	
	行政法2		2	
	会社法1		2	
	会社法2		2	
社会政策1		2		
社会政策2		2		
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	経済学概論1（国際経済を含む。）	2		
	経済学概論2（国際経済を含む。）	2		
	社会学概論	2		
	日本経済入門		2	
	日本経済論		2	
	経済事情1		2	
	経済事情2		2	
	経営学入門1		2	
	経営学入門2		2	
	国際経済学1		2	
	国際経済学2		2	
	財政学1		2	
	財政学2		2	
	地域経済論1		2	
	地域経済論2		2	
	金融論1		2	
	金融論2		2	
	環境経済学1		2	
環境経済学2		2		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論	2		
	宗教学概論	2		
	倫理学概論	2		
計		20	56	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

数学（中学校一種、高等学校一種）情報学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
代数学	基礎数学1	2		
	基礎数学2	2		
	離散数学 I		2	
	論理回路		2	
	計画数学		2	
幾何学	幾何学 I	2		
	幾何学 II		2	
	離散数学 II		2	
解析学	基礎解析 I	2		
	基礎解析 II	2		
	解析学 I		2	
	解析学 II		2	
	数値計算法		4	
「確率論、統計学」	統計学1	2		
	統計学2		2	
	統計情報数学		2	
	確率過程		2	
コンピュータ	プログラミング序論	4		
	コンピュータ処理 II		2	
計		16	26	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

情報（高等学校一種）情報学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
情報社会及び情報倫理	知的所有権		2	
	情報倫理		2	
	情報学基礎	2		
コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	プログラミング II	4		
	情報学実験 I	3		
	コンピュータアーキテクチャ I		2	
	コンピュータアーキテクチャ II		2	
	プログラミング I		4	
	情報学実験基礎		4	
	コンピュータハードウェア		2	
情報システム (実習を含む。)	情報学実験 II	3		
	データベース工学		2	
	オペレーティングシステム		2	
	ロボティクス		2	
情報通信ネットワーク (実習を含む。)	コンピュータ処理 I	2		
	コンピュータネットワーク		2	
	情報通信工学		2	
	ネットワークアーキテクチャ		2	
	ネットワークセキュリティ		2	
	コンピュータセキュリティ		2	
	ネットワークコンピューティング		2	
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	コンピュータグラフィックス		2	} 1科目必修
	画像処理		2	
	マルチメディア工学		2	

	Webプログラミング インターフェース設計		2 2	
情報と職業	現代社会と科学技術	2		
計		16	46	

備考

規定科目に掲げる科目の授業科目について、それぞれ1単位以上修得し、合計20単位以上修得すること。

小学校一種 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
国語(書写を含む)	国語(書写を含む。)	2		} 2単位以上修得 すること
社会	社会	2		
算数	算数	2		
理科	理科	2		
生活	生活科	2		
音楽	音楽		2	
	音楽実技1		1	
	音楽実技2		1	
図画工作	図画工作		2	
家庭	家庭科		2	
体育	体育		2	

※ 必修10単位を含み、合計12単位以上修得すること。

幼稚園一種 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
国語	国語(書写を含む。)	2		}
算数	算数	2		
生活	生活科	2		
音楽	音楽		2	
	音楽実技1	1		
	音楽実技2 幼児の音楽	1	2	
図画工作	図画工作	2		
	幼児の造形		2	
体育	体育	2		
	幼児の体育		2	
これら科目に含まれる 内容を合わせた内容に 係る科目その他これら 科目に準ずる内容の科 目	子どもと環境		2	
	子どもと遊び		2	
	子どもと文化		2	
	社会		2	
	理科		2	

※ 合計12単位以上修得すること。

特別支援学校教諭一種（知、肢、病） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
特別支援教育の基礎理論に関する科目	障害者教育総論	2		
特別支援教育領域に関する科目	発達障害論 知的障害者の心理 知的障害者の生理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 特別支援学校教育課程論 知的障害者の指導法1 知的障害者の指導法2 肢体不自由者の指導法 病弱者の指導法	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	視覚障害者の心理・生理・病理 聴覚障害者の心理・生理・病理 重複障害、LD等の心理・生理・病理 視覚障害者の指導法 聴覚障害者の指導法 重複障害、LD等教育の理論と実際	1 1 2 1 1 2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援教育実習	3		
※ 合計33単位以上修得すること。				

国語（中学校一種、高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	国語学概論※ 日本文法1 日本文法2 日本語表現法	2 2 2 2		
国文学（国文学史を含む。）	国文学※ 国文学史※ 日本文学概論 古典文学 近代文学	2 2 2 2 2		
漢文学	漢文学※	2		
書道（書写を中心とする。）	書道1※ 書道2	2 2		中免のみ必修 中免のみ必修
※ 規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。				
※ 授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

社会（中学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
日本史及び外国史	日本史概説※	2		
	日本史各論1		2	
	日本史各論2		2	
	外国史概説※	2		
	外国史各論1(東洋史)		2	
	外国史各論2(西洋史)		2	
	教育の歴史と思想		2	
地理学(地誌を含む。)	人文地理学		2	
	自然地理学		2	
	地理学入門(地誌を含む。)※	2		
	地誌学概説		2	
「法律学、政治学」	法律学概論1(国際法を含む。)※	2		
	法律学概論2(国際法を含む。)	2		
	政治学概論1(国際政治を含む。)※	2		
	政治学概論2(国際政治を含む。)	2		
「社会学、経済学」	社会学概論※	2		
	教育社会学		2	
	経済学概論1(国際経済を含む。)※	2		
	経済学概論2(国際経済を含む。)	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論※	2		
	教育哲学		2	
	倫理学概論		2	
	宗教学概論		2	
※ 規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※ 授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

地理歴史（高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
日本史	日本史概説※	2		
	日本史各論1	2		
	日本史各論2	2		
外国史	外国史概説※	2		
	外国史各論1(東洋史)	2		
	外国史各論2(西洋史)	2		
	教育の歴史と思想		2	
人文地理学及び自然地理学	人文地理学※	2		
	自然地理学※	2		
地誌	地理学入門(地誌を含む。)	2		
	地誌学概説※	2		
※ 規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※ 授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				



公民（高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法律学概論1 (国際法を含む。)*	2		
	法律学概論2 (国際法を含む。)	2		
	政治学概論1 (国際政治を含む。)*	2		
	政治学概論2 (国際政治を含む。)	2		
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論*	2		
	教育社会学		2	
	経済学概論1 (国際経済を含む。)*	2		
	経済学概論2 (国際経済を含む。)	2		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論*	2		
	教育哲学		2	
	倫理学概論	2		
	宗教学概論	2		
	心理学概論		2	
※ 規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※ 授業科目に「*」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

数学（中学校一種、高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
代数学	代数学1*	2		
	代数学2	2		
幾何学	幾何学1*	2		
	幾何学2	2		
解析学	解析学1*	2		
	解析学2	2		
「確率論、統計学」	確率論	2		
	統計学	2		
コンピュータ	コンピュータ演習1*	1		
	コンピュータ演習2	1		
	コンピュータ演習3	1		
	コンピュータ演習4	1		
※ 規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※ 授業科目に「*」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

## 理科（中学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
物理学	物理学実験1※ 物理学実験2	2 2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）※	1		
化学	化学概論1※ 化学概論2	2 2		
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	化学実験（コンピュータ活用を含む。）※	1		
生物学	生物学概論1※ 生物学概論2	2 2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）※	1		
地学	地学概論1※ 地学概論2	2 2		
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	地学実験（コンピュータ活用を含む。）※	1		
※ 規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※ 授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

## 理科（高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
物理学	物理学実験1※ 物理学実験2	2 2		
化学	化学概論1※ 化学概論2	2 2		
生物学	生物学概論1※ 生物学概論2	2 2		
地学	地学概論1※ 地学概論2	2 2		
「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）※ 化学実験（コンピュータ活用を含む。）※ 生物学実験（コンピュータ活用を含む。）※ 地学実験（コンピュータ活用を含む。）※	1 1 1 1		
※規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

音楽（中学校一種、高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
ソルフェージュ	ソルフェージュ1※	1		
	ソルフェージュ2	1		
声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	声楽・歌唱1※	1		
	声楽・歌唱2	1		
	声楽・歌唱3	1		
器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	器楽1※	1		
	器楽2	1		
	器楽3	1		
	器楽4（和楽器）※	1		
指揮法	指揮法※	2		
音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	音楽理論1※	2		
	音楽理論2(楽典)※	2		
	音楽理論3(音楽史)※	2		
	作曲・編曲法1(基礎)※	2		
	作曲・編曲法2(応用)	1		
※規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

美術（中学校一種、高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考	
絵画（映像メディア表現を含む。）	デッサン1	1			
	デッサン2	1			
	絵画1※	1			
	絵画2	1			
	映像メディア表現1※	1			
	映像メディア表現2			1	
彫刻	彫塑1※	1			
	彫塑2	1			
デザイン（映像メディア表現を含む。）	デザインA※	1			
	デザインB	1			
	平面構成基礎	1			
	立体構成基礎	1			
	映像メディア表現3※	1			
	映像メディア表現4			1	
工芸	工芸基礎A※	1		中免のみ必修	
	工芸基礎B	1		中免のみ必修	
	工芸A	1		中免のみ必修	
	工芸B	1		中免のみ必修	
美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	教職美術入門(鑑賞)※	2			
	美術理論1※	2			
	美術理論2			2	
	美術史概論※	2			
	日本・東洋美術史※	2			
※規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。					

保健体育（中学校一種、高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
体育実技	教職体育実技1※ 教職体育実技2 教職体育実技3 狭小体育実技4	1 1	1 1	
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学（運動方法学を含む。）	体育原理※ 体育経営管理学 体育社会学 体育心理学 運動学（運動方法学を含む。）※ スポーツコーチング論 バイオメカニクス スポーツトレーニング論	2 2 2 2 2	2 2 2	
生理学（運動生理学を含む。）	生理学（運動生理学を含む。）※ 運動生理学演習	2	1	
衛生学及び公衆衛生学	衛生学（公衆衛生を含む。）※ スポーツ医学	2	2	
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健A（学校安全・救急処置を含む。）※ 学校保健B（小児保健・精神保健を含む。）※ 発育発達論	2 2	2	
※規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

英語（中学校一種、高等学校一種） 教育学科

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
英語学	英語学概論※ 英文法	2 2		
英米文学	英米文学1※ 英米文学2※	2 2		
英語コミュニケーション	英語コミュニケーション1※ 英語コミュニケーション2 英語コミュニケーション3 英語コミュニケーション4	2 2 2 2		
異文化理解	異文化理解1※ 異文化理解2	2 2		
※規定科目に掲げる科目の授業科目についてそれぞれ1単位以上必ず修得し、合計20単位以上修得すること。 ※ 授業科目に「※」印のあるものは、一般的包括的な内容を含む授業科目であるため、必ず修得すること。				

## (2) 教職に関する専門科目

中学校教諭、高等学校教諭に共通するもの

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考	
教職の意義等に関する科目	教職入門	2			
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	2 2		
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	2			
	各教科の指導法	国語科教育法1	2		中免のみ必修 中免のみ必修
		国語科教育法2	2		
		国語科教育法3	2		
		国語科教育法4	2		
		社会・地理歴史科教育法1	2		中免のみ必修 中免のみ必修
		社会・地理歴史科教育法2	2		
		社会・公民科教育法1	2		
		社会・公民科教育法2	2		
		数学科教育法1	2		中免のみ必修 中免のみ必修
		数学科教育法2	2		
		数学科教育法3	2		
		数学科教育法4	2		
		理科教育法1	2		中免のみ必修 中免のみ必修
		理科教育法2	2		
		理科教育法3	2		
		理科教育法4	2		
		音楽科教育法1	2		中免のみ必修 中免のみ必修
		音楽科教育法2	2		
		音楽科教育法3	2		
		音楽科教育法4	2		
		美術科教育法1	2		中免のみ必修 中免のみ必修
		美術科教育法2	2		
		美術科教育法3	2		
		美術科教育法4	2		
		保健体育科教育法1	2		中免のみ必修 中免のみ必修
		保健体育科教育法2	2		
		保健体育科教育法3	2		
		保健体育科教育法4	2		
		英語科教育法1	2		中免のみ必修 中免のみ必修
英語科教育法2		2			
英語科教育法3	2				
英語科教育法4	2				
情報科教育法1	2				

		情報科教育法2 工業科教育法1 工業科教育法2	2 2 2		
	道徳の指導法	道徳教育の指導法(中学校)		2	中免のみ必修
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(中高)	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教育方法学	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法/進路指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	中等教育相談の基礎と方法	2		
教育実習		中等教育実習指導	1		事前事後指導を含む
		中等教育実習A	2		事前事後指導を含む
		中等教育実習B		2	事前事後指導を含む
教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2		
計			95	8	
備考					
<p>1. 「教科教育法」は、取得しようとする免許教科について修得するものとする。</p> <p>2. 教育学部について「教科教育法3・4」は高等学校一種免においても必修。</p> <p>3. 「中等教育実習指導」、「中等教育実習A」、「中等教育実習B」には事前指導・事後指導を含む。</p> <p>4. 教育実習について、中学校教諭一種免許状を取得する場合は、「中等教育実習A」「中等教育実習B」の両方を修得しなければならない。ただし、教育職員免許法の定めによって単位を流用する場合は、「中等教育実習A」を修得するものとする。</p> <p>5. 中学校教諭一種免許状については35単位以上、高等学校教諭一種免許状については27単位以上修得しなければならない。</p>					

幼稚園教諭に関するもの

規定科目	授業科目	必修の単位数	選択の単位数	備考
教職の意義等に関する科目	教職入門	2		
教育の基礎理論に関する科目	教育原理	2		
	教育心理学	2	2	
	児童心理学			
	保育学1	2		
	保育学2	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2		
	教育の制度と経営			
	教育行財政1		2	
	教育行財政2		2	

教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	初等教育課程論	2		
	保育内容の指導法	保育内容総論 保育内容A・健康 保育内容B・人間関係 保育内容C・環境 保育内容D・言葉 保育内容E・表現1 保育内容F・表現2	2 2 2 2 2 2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	初等教育方法学	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	幼児理解の理論と方法	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	初等教育相談の基礎と方法	2		
教育実習		初等教育実習指導 初等教育実習 特別教育実習	1	4 4	} いずれかの単位を修得すること
教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2		
計			37	14	
備考					
1. 「初等教育実習指導」「初等教育実習」「特別教育実習」には事前指導・事後指導を含む。					
2. 幼稚園教諭一種免許状については41単位以上修得しなければならない。					

小学校教諭に関するもの

規定科目	授業科目	必修の単位数	選択の単位数	備考
教職の意義等に関する科目	教職入門	2		
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	2 2		小免のみ必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	2 2	
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	2		
	各教科の指導法	初等国語科教育法(書写を含む。) 初等社会科教育法 初等算数科教育法 初等理科教育法 初等生活科教育法	2 2 2 2 2	

		初等音楽科教育法 初等図画工作科教育法 初等家庭科教育法 初等体育科教育法	2 2 2 2		
	道徳の指導法	道徳教育の指導法 (小学校)	2		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法 (小学校)	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	初等教育方法学	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法/ 進路指導の理論及び方法	児童・進路指導論	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	初等教育相談の基礎と方法	2		
教育実習		初等教育実習指導 初等教育実習 特別教育実習	1	4 4	} いずれかの単位を修得すること
教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2		
計			43	12	
備考					
1. 「初等教育実習指導」「初等教育実習」「特別教育実習」には事前指導・事後指導を含む。					
2. 小学校教諭一種免許状を取得にあたっての教育実習の科目の履修は、「初等教育実習指導」を修得するとともに、「初等教育実習」もしくは「特別教育実習」を修得しなければならない。					
3. 小学校教諭一種免許状については47単位以上修得しなければならない。					

### (3) 教科又は教職に関する科目

中学校教諭、高等学校教諭に共通するもの(教科又は教職に関する科目)

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考	
教科又は教職に関する科目	教育インターンシップ1		1		
	教育インターンシップ2		1		
	教育インターンシップ3		1		
	教育インターンシップ4		1		
	教育インターンシップ5		1		
	教育インターンシップ6		1		
	教育の最新事情		2		
	教育法規1		2		
	教育法規2		2		
	情報教育1		2		
	情報教育2		2		
	授業研究1		2		
	授業研究2		2		
	道徳教育の指導法(中学校)			2	高免のみ
	備考				
1. 中一種免については8単位以上、高一種免については16単位以上修得すること。 ただし、最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」「教職に関する科目」の単位を充てることができる。					



小学校教諭に共通するもの（教科又は教職に関する科目）

規定科目	授業科目	必修の 単位数	選択の 単位数	備考
教科又は教職に関する科目	教育インターンシップ1		1	
	教育インターンシップ2		1	
	教育インターンシップ3		1	
	教育インターンシップ4		1	
	教育インターンシップ5		1	
	教育インターンシップ6		1	
	教育の最新事情		2	
	教育法規1		2	
	教育法規2		2	
	情報教育1		2	
	情報教育2		2	
	授業研究1		2	
	授業研究2		2	
	初等国語指導法研究1※		2	
	初等国語指導法研究2※		2	
	初等社会指導法研究1※		2	
	初等社会指導法研究2※		2	
	初等算数指導法研究1※		2	
	初等算数指導法研究2※		2	
	初等理科指導法研究1※		2	
	初等理科指導法研究2※		2	
	初等音楽指導法研究1※		2	
	初等音楽指導法研究2※		2	
	初等図画工作指導法研究1※		2	
	初等図画工作指導法研究2※		2	
	初等体育指導法研究1※		2	
	初等体育指導法研究2※		2	
	外国語活動指導法研究1※		2	
	外国語活動指導法研究2※		2	
	備考	<p>1. ※は教育学部教育学科にのみ開設。                  2. 10単位以上修得すること。                  ただし、最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」「教職に関する科目」の単位を充てることができる。</p>		

別表第14-1 全学共通教職・資格科目及び単位数（社会教育主事）

人文学部及び心理学部

規定科目	授業科目	単位数	備考
生涯学習概論	生涯学習論 1	2	必修
	生涯学習論 2	2	必修
社会教育計画	社会教育計画 1	2	必修
	社会教育計画 2	2	必修
社会教育演習	社会教育課題研究 1	2	必修
社会教育実習			
社会教育課題研究	社会教育課題研究 2	2	必修
社会教育特講 I	社会イノベーション論	2	4単位以上選択
	ジェンダー論	2	
	市民運動論	2	
	福祉社会学	2	
社会教育特講 II	教育行財政 1	2	4単位以上選択
	教育行財政 2	2	
	博物館概論	2	
	図書館の基礎と展望	2	
	図書館サービス概論	2	
	職業指導 I	2	
	職業指導 II	2	
社会教育特講 III	博物館資料論	2	4単位以上選択
	教育原理	2	
	教育の制度と経営	2	
	国際関係論 1	2	
	国際関係論 2	2	
	情報社会文化論 1	2	
	情報社会文化論 2	2	
	社会に生きる私たちの人権	2	
	ボランティア論	2	
必要単位数		24	

別表第14-2 全学共通教職・資格科目及び単位数（図書館司書）

人文学部、経済学部及び心理学部

規定科目	授業科目	単位数	備考
生涯学習概論	生涯学習論 1	2	必修
図書館概論	図書館の基礎と展望	2	必修
図書館制度・経営論	図書館制度・経営論	2	必修
図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必修
図書館サービス概論	図書館サービス概論	2	必修
情報サービス論	情報サービス論	2	必修
児童サービス論	児童サービス論	2	必修
情報サービス演習	情報サービス演習 1	1	必修
	情報サービス演習 2	1	必修
図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必修
情報資源組織論	情報資源組織論	2	必修
情報資源組織演習	情報資源組織演習 1	1	必修
	情報資源組織演習 2	1	必修
図書館基礎特論	図書館基礎特論及び演習	1	2科目選択
図書館サービス特論	図書館サービス特論及び演習	1	
図書館情報資源特論	図書館情報資源特論及び演習	1	
図書・図書館史	図書・図書館史及び演習	1	
図書館施設論	図書館施設論及び演習	1	
図書館総合演習	図書館総合演習	1	
図書館実習	図書館実習	1	
必要単位数		24	

別表第14-3 全学共通教職・資格科目及び単位数（学校図書館司書教諭）

人文学部及び教育学部

規定科目	授業科目	単位数	備考
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	必修
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必修
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必修
学校図書館メディアの構成	学校図書館の情報アプローチⅠ	2	必修
情報メディアの活用	学校図書館の情報アプローチⅡ	2	
必要単位数		10	

別表第14-4 全学共通教職・資格科目及び単位数（社会福祉士受験資格）

※ 社会福祉士国家試験受験資格は人文学部福祉実践学科のうち原則160人以内とする。

人文学部福祉実践学科

社会福祉士及び介護福祉士法に基づく指定科目名	授業科目	単位数	備考
人体の構造と機能及び疾病	人体機能と疾病	2	1科目選択
心理学理論と心理的支援	心理学	2	
社会理論と社会システム	社会学原論	2	
現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	2	必修
	現代社会と福祉Ⅱ	2	必修
社会調査の基礎	社会調査	2	必修
相談援助の基盤と専門職	福祉専門職論Ⅰ	2	必修
	福祉専門職論Ⅱ	2	必修
相談援助の理論と方法	相談援助論ⅠA	2	必修
	相談援助論ⅠB	2	必修
	相談援助論ⅡA	2	必修
	相談援助論ⅡB	2	必修
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2	必修
	地域福祉論Ⅱ	2	必修
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政論	2	必須
福祉サービスの組織と経営	福祉経営論	2	必修
社会保障	現代の社会保障Ⅰ	2	必修
	現代の社会保障Ⅱ	2	必修
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論Ⅰ	2	必修
	高齢者福祉論Ⅱ	2	必修
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害学Ⅱ	2	必修
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	子ども福祉論	2	必修
低所得者に対する支援と生活保護制度	貧困論	2	必修
保健医療サービス	保健医療サービス論	2	必修
就労支援サービス	就労支援と権利擁護	2	必修
権利擁護と成年後見制度			
相談援助演習	相談援助演習Ⅰ	1	必修
	相談援助演習Ⅱ	1	必修
	相談援助演習Ⅲ	1	必修
	相談援助演習Ⅳ	1	必修
	相談援助演習Ⅴ	1	必修
相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅰ	2	必修
	相談援助実習指導Ⅱ	2	必修
	相談援助実習指導Ⅲ	2	必修
相談援助実習	相談援助実習	4	必修
開設単位数		65	

別表第14-5 全学共通教職・資格科目及び単位数（博物館学芸員）

人文学部日本文化学科

<必修科目>

博物館法に定められた科目	授業科目	単位数	備考
生涯学習概論	生涯学習論1	2	必修
博物館概論	博物館概論	2	必修
博物館経営論	博物館経営論	2	必修
博物館資料論	博物館資料論	2	必修
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	必修
博物館展示論	博物館展示論	2	必修
博物館教育論	博物館教育論	2	必修
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	必修
博物館実習	博物館実習1	1	必修
	博物館実習2	1	必修
	博物館実習3	1	必修

<選択科目>

科目系列	授業科目	単位数	備考
文化史	伝統文化論1	2	4系列以上16単位を取得すること。  } 1科目必修  } 必修
	伝統文化論2	2	
	比較文化論1	2	
	比較文化論2	2	
美術史	西洋美術史1	2	
	西洋美術史2	2	
	日本・東洋美術史1	2	
	日本・東洋美術史2	2	
考古学	考古学1	2	
	考古学2	2	
民俗学	日本民俗学1	2	
	日本民俗学2	2	
書誌学	書誌学	2	
	古文書学	2	

別表第14-6 全学共通教職・資格科目及び単位数（保育士養成課程）

当該科目を履修できる者は、教育学部教育学科子ども臨床コース（入学定員80人、総定員320人）の在学者とする

児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号 による修業科目及び単位数 厚生労働省告示198号に定める教科目		授業科目	授業 形態	単位数	授業 時間数	備考	
必修 科目	保育の本質・ 目的に関する 科目	保育原理	保育学1	講義	2	30	必修
		教育原理	教育原理	講義	2	30	必修
		児童家庭福祉	子ども福祉論	講義	2	30	必修
		社会福祉	社会福祉論	講義	2	30	必修
		相談援助	相談援助	演習	2	30	必修
		社会的養護	社会的養護	講義	2	30	必修
		保育者論	保育者論	講義	2	30	必修
	保育の対象の 理解に関する 科目	保育の心理学Ⅰ	発達心理学	講義	2	30	必修
		保育の心理学Ⅱ	子どもの発達臨床	演習	2	30	必修
		子どもの保健Ⅰ	子どもの保健1	講義	2	30	必修
			子どもの保健2	講義	2	30	必修
		子どもの保健Ⅱ	子どもの保健（演習）	演習	1	30	必修
		子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	演習	2	60	必修
		家庭支援論	子育て支援論	講義	2	30	必修
	保育の内容・ 方法に関する 科目	保育課程論	保育課程論	講義	2	30	必修
		保育内容総論	保育内容総論	演習	2	30	必修
		保育内容演習	保育内容A・健康	演習	2	30	必修
			保育内容B・人間関係	演習	2	30	必修
			保育内容C・環境	演習	2	30	必修
			保育内容D・言葉	演習	2	30	必修
			保育内容E・表現1	演習	2	30	必修
			保育内容F・表現2	演習	2	30	必修
		乳児保育	乳児保育1	演習	1	30	必修
			乳児保育2	演習	1	30	必修
		障害児保育	障害児保育	演習	2	30	必修
		社会的養護内容	社会的養護内容	演習	2	30	必修
		保育相談支援	保育相談支援	演習	2	30	必修
保育の表現技 術	保育の表現技術	音楽実技1	演習	1	30	必修	
		音楽実技2	演習	1	30	必修	
		幼児の造形	演習	2	30	必修	
		幼児の体育	演習	2	30	必修	
		保育実習	保育実習Ⅰ	保育所実習1	実習	2	※
保育実習	保育実習Ⅰ	施設実習1	実習	2	※	必修	
		保育実習指導Ⅰ	保育所実習指導1	演習	1	30	必修
	保育実習指導Ⅰ	施設実習指導1	演習	1	30	必修	
		総合演習	保育実践演習	教職実践演習（教諭）	演習	2	30
計				65		65単位必修	
選 択 必 修 科 目	保育の本質・目的に関する科目	保育学2	講義	2	30	15単位以上 選択	
		幼児教育思想史	講義	2	30		
		教育の制度と経営	講義	2	30		
		放課後子ども支援論	講義	2	30		
		保育の対象の理解に関する科目	幼児理解の理論と方法	講義	2		30
	教育心理学	講義	2	30			
	臨床心理学	講義	2	30			
	子どもと保育者のメンタルヘルス	講義	2	30			
	保育の最新事情	講義	2	30			
	児童心理学	講義	2	30			
	保育の内容・方法に関する科目	乳児保育実践論	講義	2	30		
		初等教育相談の基礎と方法	講義	2	30		
		初等教育方法学	講義	2	30		
		情報教育1	講義	2	30		
		情報教育2	講義	2	30		
障害児教育概論1		講義	2	30			

		障害児教育概論 2	講義	2	30			
		子どものケアと社会	講義	2	30			
		子どもと文化	演習	2	30			
		子どもと環境	演習	2	30			
		子どもと遊び	演習	2	30			
		子どもと表現	演習	2	30			
	保育の表現技術	幼児の音楽	演習	2	30			
	保育実習	保育実習Ⅱ	保育所実習 2	実習	2	※		
		保育実習指導Ⅱ	保育所実習指導 2	演習	1	30		
		保育実習Ⅲ	施設実習 2	実習	2	※		
		保育実習指導Ⅲ	施設実習指導 2	演習	1	30		
		計		52		18単位以上選択		
教養科目	外国語、体育以外の科目	法学 1	講義	2	30	6単位以上 選択		
		法学 2 (日本国憲法)	講義	2	30			
		文化人類学 1	講義	2	30			
		文化人類学 2	講義	2	30			
		統計学 1	講義	2	30			
		統計学 2	講義	2	30			
		基礎数学 1	講義	2	30			
		基礎数学 2	講義	2	30			
		人文科学論 1	講義	2	30			
		人文科学論 2	講義	2	30			
		社会科学論 1	講義	2	30			
		社会科学論 2	講義	2	30			
		国際関係論 1	講義	2	30			
		国際関係論 2	講義	2	30			
		情報社会文化論 1	講義	2	30			
		情報社会文化論 2	講義	2	30			
		社会に生きる私たちの人権	講義	2	30			
		人類と環境	講義	2	30			
		外国語	外国語 (英語) 1 A	演習	1		30	必修
			外国語 (英語) 1 B	演習	1		30	必修
外国語 (英語) 2 A	演習		1	30	必修			
外国語 (英語) 2 B	演習		1	30	必修			
体育	健康・スポーツ科学論	講義	2	30	必修			
	健康・スポーツ演習 1	実技	1	30	必修			
		計		43		13単位以上選択		

備考

- ※印：120時間（実習90時間、事後指導30時間）
- 学則第43条で認定された単位の内、保育士養成課程に係る科目を修得している場合には、30単位を超えない

【指定保育士養成施設の名称及び所在地】

- 名称：明星大学教育学部教育学科子ども臨床コース
- 所在地：東京都日野市程久保2丁目1番地1



別表第14-7 全学共通教職・資格科目及び単位数（社会調査士）

人文学部人間社会学科

規定科目	授業科目	単位数	備考
A. 社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査法A	2	
B. 調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法B	2	
C. 基本的な資料とデータの分析に関する科目	データ理解の基礎	2	
D. 社会調査に必要な統計学に関する科目	統計学の基礎	2	
E. 量的データ解析の方法に関する科目	量的データ分析	2	
F. 質的な分析の方法に関する科目	質的データ分析	2	
G. 社会調査の実習を中心とする科目	社会調査実習	4	

別表第14-8 全学共通教職・資格科目及び単位数（精神保健福祉士受験資格）

人文学部福祉実践学科

精神保健福祉士法の規定に基づく精神障害者の保健及び福祉に関する科目	授業科目	単位数	備考
人体の構造と機能及び疾病	人体機能と疾病	2	1科目選択
心理学理論と心理的支援	心理学	2	
社会理論と社会システム	社会学原論	2	
現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	2	必修
	現代社会と福祉Ⅱ	2	必修
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2	必修
	地域福祉論Ⅱ	2	必修
社会保障	現代の社会保障Ⅰ	2	必修
	現代の社会保障Ⅱ	2	必修
低所得者に対する支援と生活保護制度	貧困論	2	必修
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政論	2	必修
保健医療サービス	保健医療サービス論	2	必修
権利擁護と成年後見制度	就労支援と権利擁護	2	必修
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害学Ⅱ	2	必修
精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ	2	必修
	精神医学Ⅱ	2	必修
精神保健の課題と支援	精神保健Ⅰ	2	必修
	精神保健Ⅱ	2	必修
精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	相談援助論ⅠA	2	必修
精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	相談援助論ⅠB	2	必修
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神保健福祉援助各論Ⅰ	2	必修
	精神保健福祉援助各論Ⅱ	2	必修
	精神科リハビリテーション論Ⅰ	2	必修
	精神科リハビリテーション論Ⅱ	2	必修
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉論Ⅰ	2	必修
精神障害者の生活支援システム	精神保健福祉論Ⅱ	2	必修
	精神保健福祉論Ⅲ	2	必修
精神保健福祉援助演習（基礎）	精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	必修
精神保健福祉援助演習（専門）	精神保健福祉援助演習Ⅱ	1	必修
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	1	必修
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	2	必修
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2	必修
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	2	必修
	精神保健福祉援助実習	4	必修
開設単位数		67	

別表第 15 全学共通社会的・職業的自立促進科目及び単位数

授業科目の名称	単位数または時間数		
	必修	選択	自由
自立と体験3			2
自立と体験4			2
ボランティア実践1			1
ボランティア実践2			1
キャリアデザイン1			2
キャリアデザイン2			2

別表第 16 学費

理工学部

(単位：円)

費目	入学年次	2年次以降
入学金	250,000	
授業料	940,000	940,000
設備費、実験実習費、図書費	100,000	100,000
施設拡充費	300,000	300,000
合計	1,590,000	1,340,000

人文学部

(単位：円)

費目	入学年次	2年次以降
入学金	250,000	
授業料	800,000	800,000
設備費、実験実習費、図書費	50,000	50,000
施設拡充費	300,000	300,000
合計	1,400,000	1,150,000

経済学部

(単位：円)

費目	入学年次	2年次以降
入学金	250,000	
授業料	700,000	700,000
設備費、実験実習費、図書費	30,000	30,000
施設拡充費	220,000	220,000
合計	1,200,000	950,000

情報学部

(単位：円)

費目	入学年次	2年次以降
入学金	250,000	
授業料	940,000	940,000
設備費、実験実習費、図書費	100,000	100,000
施設拡充費	300,000	300,000
合計	1,590,000	1,340,000

教育学部

(単位：円)

費目	入学年次	2年次以降
入学金	250,000	
授業料	800,000	800,000
設備費、実験実習費、図書費	50,000	50,000
施設拡充費	300,000	300,000
合計	1,400,000	1,150,000

経営学部 (単位：円)

費目	入学年次	2年次以降
入学金	250,000	
授業料	700,000	700,000
設備費、実験実習費、図書費	30,000	30,000
施設拡充費	220,000	220,000
合計	1,200,000	950,000

デザイン学部 (単位：円)

費目	入学年次	2年次以降
入学金	250,000	
授業料	940,000	940,000
設備費、実験実習費、図書費	100,000	100,000
施設拡充費	300,000	300,000
合計	1,590,000	1,340,000

心理学部 (単位：円)

費目	入学年次	2年次以降
入学金	250,000	
授業料	800,000	800,000
設備費、実験実習費、図書費	50,000	50,000
施設拡充費	300,000	300,000
合計	1,400,000	1,150,000

科目等履修生 (全学部共通) (単位：円)

科目等履修料	登録料	10,000
	聴講料	1単位につき 15,000 本学卒業生は上記の半額

研究生 (単位：円)

研究指導料 (半期在学者は右記金額の半額とする。)	理工学部	220,000
	人文学部	150,000
	経済学部	150,000
	情報学部	220,000
	教育学部	150,000
	経営学部	150,000
	デザイン学部	220,000
	心理学部	150,000

聴講生 (全学部共通) (単位：円)

登録料	10,000
聴講料	1単位につき 15,000 本学卒業生は上記の半額

※ 特別な場合には、上記金額を減ずることができる。

休学者 (単位：円)

在籍料	25,000
-----	--------